



神戸大学生生活協同組合

2024年度（第68回）通常総代会議案書

第1号議案 2023年度活動報告・事業報告書および決算関係書類承認の件

第2号議案 2024年度事業計画及び予算決定の件

第3号議案 2024年度役員選出の件

第4号議案 定款の一部変更の件

第5号議案 総会および総代会運営規約の一部変更の件

第6号議案 監事監査規則の一部変更の件

第7号議案 役員報酬決定の件

日 時：2024年5月23日（木）17時00分

場 所：鶴甲第一キャンパス 神戸大学生協総務部2階会議室



《目 次》

第 1 号議案 2023 年度活動報告・事業報告書および決算関係書類承認の件

- 1) 2022 年度活動報告.....pp.1-12
 - 学生委員会活動報告.....pp.13-17
- 2) 2023 年度事業報告書および決算関係書類等.....pp.18-46
 - 参考資料（店舗別損益対比表・損益比較表・沿革）pp.47-58

監査報告書.....p.59

監事意見書.....p.60

第 2 号議案 2024 年度事業計画及び予算決定の件

- 1) 2024 年度活動計画.....pp.61-64
 - 学生委員会活動方針pp.65-66
- 2) 2024 年度予算.....pp.67-69

第 3 号議案 2024 年度役員選出の件.....pp.70-71

第 4 号議案 定款の一部変更の件.....p.72

第 5 号議案 総会および総代会運営規約の一部変更の件.....p.73

第 6 号議案 監事監査規則の一部変更の件.....pp.74-75

第 7 号議案 役員報酬決定の件.....p.76

設立趣意書

終戦後、神戸大学には教職員と学生の福利厚生を増進を目指して、六甲台協同組合、御影協同組合、住吉寮協同組合、住吉食堂運営委員会が発足して、不安定な国民生活の中で、組合員の経済的文化的生活を守りその向上をはかって来た。

然し、現在の社会状況は、このような私達の協同組合事業の強化を要請している。この時に当って私達は、これらの組合の社会的経済的信用を高め、かつ組合を法の統制と保護の下におき、その存続の基礎を固めるさしせまった必要から、これを統一して消費生活協同組合法の定める特殊法人「神戸大学消費生活協同組合」として発足しようとするものである。

1957 年 6 月 29 日

第1号議案 2023年度事業報告・事業報告書および決算関係書類承認の件

※第1号議案は2023年度の事業と活動を報告します。

第1号議案－1 2023年度活動報告

2023年度は活動計画の中心に【「通学＝生協利用」の強化】【コロナを言い訳としない事業・活動の構築】【新システムへの対応】【原点回帰】の4つの柱を据え、取り組みました。

【概況】

2023年度新入生支援活動は、全体を通して計画通りに取り組むことができました。新しい試みとしては、新入生を対象としたプレ学食定期を案内し、非常に多くのお申し込みがありました。新入生の利用が多い鶴甲第1キャンパスの食堂・ショップでは利用が大きく増加しました。5月には新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更され、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための神戸大学の活動制限指針」の全項目がレベル0(＝通常)に引き下げられました。クラブ・サークル活動や六甲祭等の各課外活動も規制や制限が無くなり、3年にも及ぶコロナ禍でのキャンパス環境が大きく変化しました。その結果、上半期では特に食堂やケータリングで利用者数が大きく増加し、「通学＝生協利用」が実現できたと考えています。また、LANS HALAL Vege Diningの営業再開、10月からのBELBOXカフェテリアの土曜日営業のチャレンジ等、徐々にではありますが組合員の利便性を改善する取り組みを行いました。新システムの運用(稼働)に関しては、2023年度当初は、レジスピードの遅さやスタッフのレジオペレーションが不慣れなこと、そして大学生協アプリのインストールの煩雑さ等により迷惑をかけていましたが、システム改修が進み、スタッフも慣れたことで安定してきています。レジでの大学生協アプリ(生協電子マネーや学食定期)を利用した決済は、全体で約58.5%となりました。ショップ事業部では52.9%、FS事業部では62.9%となっており、国際文化学部食堂が73.4%と決済率が一番高くなっています。この生協アプリ決済では、一部の商品を除き100円につき1割が付与されます(書籍は100円につき10割)。ポイント付与は、組合員への利用還元が大きく寄与しており、付与したポイントは、年間で約1,722万割(1,722万円分)に達しています。また、大学生協アプリの利用が浸透することでキャッシュレス化が進み、レジ混雑の緩和に大きな効果が表れています。今後も、大学生協アプリの決済利用を推進しなければならないと考えています。ただ、決済サーバーの障害によるネットワークの遅延等が発生し、決済利用時に大きな影響が発生することがありました。これはレジオペレーションや組合員のアプリ操作で対応できない事象です。このような事象が発生しないように、引き続き大学生協事業連合へシステム改修(改善)を強く要請します。



※レジは大学生協事業連合が開発に携わり、一部地域を除く全国の大学生協で使用しています。

店舗の利用に関しては、年間を通して増加するとまではならず、下半期(11月以降)は減少傾向に転じました。キャンパス全体で減少傾向があれば、食堂に比べてショップでは想定した利用人数よりも減少傾向が強いケースもあります。基本的には対面授業となっていますが、遠隔授業やハイブリッド授業(対面と遠隔の併用)も少なからずあり、各学部の授業形態に大きく起因している可能性があります。2012年度から2023年度の実績比較は、以下の表の通りとなります。2022年度から回復基調となっていますが、2022年度と2023年度の比較では8.4%の伸長に留まっており、2019年度との比較では62.8%の回復(ショップ事業部は53.6%、FS事業部は68.4%の回復率)となっています。想定では、約75%の利用回復を見込んでしまいましたが、大きく乖離する結果となりました。

2012年度～2023年度利用者推移

(単位：人)

年 度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
利用人数	2,842,620	2,920,744	2,885,925	2,926,915	2,871,562	2,744,229	2,566,427	2,505,594	457,521	821,433	1,451,187	1,572,614
前年度比較	—	78,124	△34,819	40,990	△55,353	△127,333	△177,802	△60,833	△2,048,073	363,912	629,754	121,427
前年度増減率	—	2.7%	△1.2%	1.4%	△1.9%	△4.4%	△6.5%	△2.4%	△81.7%	79.5%	76.7%	8.4%
2019年度比較利用回復率									18.3%	32.8%	57.9%	62.8%

2012年度～2023年度事業部別利用者推移

(単位：人)

利用者推移	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
ショップ 事業部	1,268,503	1,288,208	1,256,228	1,232,575	1,153,730	1,050,026	992,506	951,248	119,900	224,745	490,237	509,727
前年度比較	—	19,705	△31,980	△23,653	△78,845	△103,704	△57,520	△41,258	△831,348	104,845	265,492	19,490
前年度増減率	—	1.6%	△2.5%	△1.9%	△6.4%	△9.0%	△5.5%	△4.2%	△87.4%	87.4%	118.1%	4.0%
2019年度比較利用回復率									12.6%	23.6%	51.5%	53.6%
フード サービス事業部	1,574,117	1,632,536	1,629,697	1,694,340	1,717,832	1,694,203	1,573,921	1,554,346	337,621	596,688	960,950	1,062,887
前年度比較	—	58,419	△2,839	64,643	23,492	△23,629	△120,282	△19,575	△1,216,725	259,067	364,262	101,937
前年度増減率	—	3.7%	△0.2%	4.0%	1.4%	△1.4%	△7.1%	△1.2%	△78.3%	76.7%	61.0%	10.6%
2019年度比較利用回復率									21.7%	38.4%	61.8%	68.4%



ただ、利用回復に関しては、営業時間がまだ 2019 年度以前に戻っていないことや、医学部店と医学部食堂の移転を考慮しなければなりません。しかし、ショップ事業部の利用回復が鈍化していることは明確で、昼食時の食堂利用で充足している可能性が高いです。ショップで取り扱っている手作り弁当は好評を得ていますが、それ以外の食品関係に対する魅力が弱く、組合員の選択肢より外れつつあるのではと危惧しています。

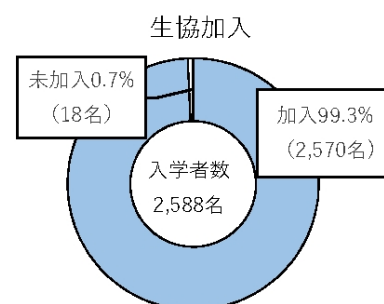
※医学部店はこれまでの食品関係の取り扱いを終了し、情報機器や医療用品等に特化した店舗に業態を変更しました。医学部食堂は同施設内に競合となる飲食店があり利用が少し減少しています。(1階と2階に飲食店があり、3階が生協食堂)

また、大学校費の利用が縮小し、大きな影を落とす結果となりました。各教員への運営費交付金配分減(電気使用料高騰のため)や円安による商品値上げ、そしてこれまで自粛されていた国内外学会等への出席等により、物品購入が減少したと考えられます。2022 年度実績の約 11.8%減となっており、この傾向はおそらく 2024 年度も継続すると考えています。

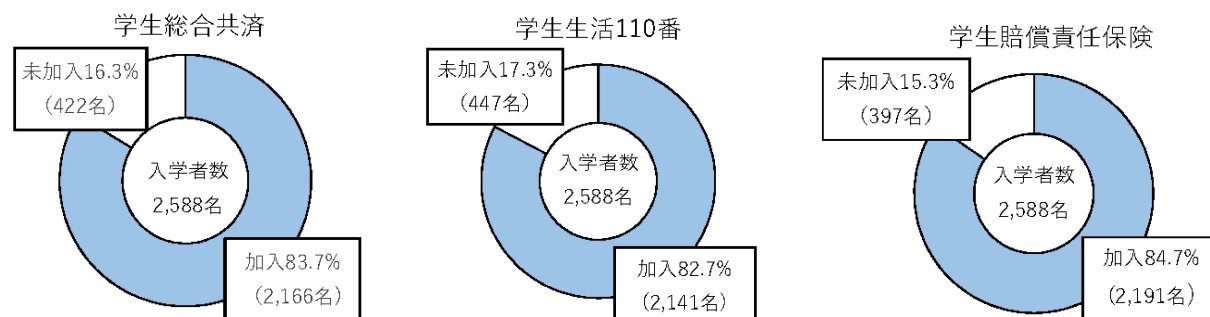
※10 月から 2 月の期間では、前年同期間との対比で 19.4%減となりました。

①新入生支援活動

入学準備説明会は 2023 年度もオンライン方式にて、合格者ならびに保護者を対象に計 8 回開催し(各日午前・午後の 2 回ずつ開催)、参加された 1,169 名(申込は 1,341 名)に新入生支援活動を紹介することができました。今年度、志・総合・学校推薦合格者を対象とした説明会を開催できたことは大きな一歩と考えています。約 99.3%の新入生に生協へ加入いただき、学生総合共済は約 83.7%、学生生活 110 番は約 82.7%、そして学生賠償責任保険は約 84.7%の加入となりました。学生総合共済以外の COOP 共済商品(6 月



に定款変更)は、本格的な展開を準備している中、5名の加入がありました。今後、さらに取り組みを強化します。また、卒業予定者に向けて共済保険を提案できることは、無保険状態を回避できる大きな取り組みと考えています。



2023年2月21日～2024年3月20日の期間での 学生総合共済給付件数および給付金額		
事由	件数	給付金額
本人死亡	2	2,000,000円
病気入院	157	13,085,000円
事故入院	116	10,740,000円
病気手術	121	6,020,000円
事故手術	38	1,900,000円
事故通院	498	12,536,000円
父母死亡	31	8,620,000円
扶養死亡	5	7,000,000円
こころの早期保障	33	330,000円
合計	1,001	62,231,000円

学習用パソコンでは、計画台数の850台を超える929台(入学者の約35.9%)を提供することができましたが、パソコン講習会の申込は443名と少し減少しました。4年間の安心サポートパックの加入は713名(学習用パソコン購入者の76.7%)でした。住まい紹介では、六甲地区の成約件数は昨年実績を維持することができましたが、大倉山地区(医学部)は今年度も苦戦する結果となりました。

※住まい紹介に関しては、今年度も4月3日の午前と午後にご宿生オリエンテーションを開催し、1人暮らしの不安解消や友達作りを支援しました(130名参加)。また、12月2日には協力頂いている家主や取引先に向けて、住まい紹介の現状や次年度に向けての情報提供や意見交換を行いました(64名参加)。

教科書販売は非常に厳しく、大幅に減少しています。おそらく、紙媒体を活用しない学修形態(Webの活用)への移行が進んでいるのではないかと考えられます。

新たな取り組みとして実施したプレ学食定期(学食定期の17日間お試し利用)は、2,215名(入学者の約85.6%)が申し込まれ、切替プランに840名が申し込まれました(プレ学食定期利用者の約37.9%が継続利用)。学食定期全体は1,227名の申し込みがありました。

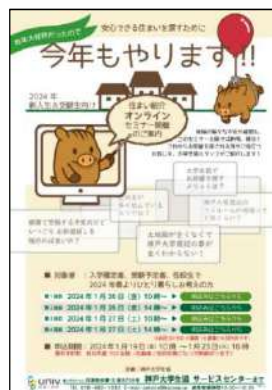
※2023年度は利用上限額1日600円とし、3つのプランを案内しました。

年間プラン(4月から2月までの165日間)で192名、切替プラン(5月から2月までの148日間)で1,018名、後期プラン(10月から2月までの83日間)で17名の申し込みがありました。

②受験生支援活動

◇住まい紹介オンラインセミナー

現役神大生にも協力をいただき、1月26日・27日にオンラインセミナーを開催しました。両日で約300名の受験予定者と保護者が参加されました。また、今年度初めて医学部医学科・保健学科の受験生・保護者を対象としたオンラインセミナーを2月9日に開催し、14名の参加がありました。



◇受験宿泊

受験宿泊は 697 組 1,501 名となりました。昨年度実績(717 組 1,563 名)からは少し減少しました。

③プレ総代会の開催

総代会前にプレ総代会を 5 月 18 日に開催し、総代ならびに組合員と意見交換を行いました。「大学生協アプリについて」「生協の利用者を増やすには」の 2 つの議題を話し合っていたいただき、多くの貴重な意見をいただきました。

④一言カードの投函枚数の推移

コロナ禍での休業や短縮営業を経て、ようやく全ての店舗で営業することができました。

※営業時間はまだ短縮ですが、LANS HALAL Vege Dining の営業再開や BELBOX カフェテリアの土曜日営業チャレンジ等。

利用者数の増加に伴い、一言カードの投函枚数も順調に回復しています。累積枚数では 2017 年度に次いで多くなりました。傾向としては食堂への投函が多く、工学部食堂と新施設へ移転した医学部食堂が多くなっています。

※工学部食堂への一言カードは、コロナ以前から多いです。

内容は、メニュー(提供要望)についてが概ねですが、改善へのヒントや生協職員が気付かなかった指摘もあります。いただいた意見は真摯に受け止め、改善に努めるとともに、投函枚数が更に増えるように尽力します。

各年度の投函枚数

<単位：枚>

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
計	138	169	133	254	158	207	58	90	175	190

⑤改装関係

◇医学部食堂と医学部店の新施設への移転

新福利厚生施設(神緑会館の跡地)への移転が完了し、6月1日より無事に営業を再開することができました。

※食堂は 5/22(月)、ショップは 5/24(水)より移転準備のために休業しました。

また、改装に要した費用は 6 月に計上しました。

新施設では、1 階の一部フロアがショップ、3 階の全フロアが食堂です。1 階フロアには生協のショップ以外に、神明 HD グループ、2 階にはタリーズコーヒーと調剤薬局がそれぞれ出店した複合施設となっています。

※神明 HD グループは、魚べい mini(回転寿司)・0.6 VEGETABLE&OIL (店内調理のサラダやサンドイッチ、お惣菜、コーヒーのセットを提供)、揖保乃糸 PRODUCED BY SHINMEI を複合した形態で出店しています。

ショップは旧店舗の約 50% のフロア面積になることと、他社との共存となることから、これまでの取り扱い商品を大きく絞り込み、校費利用(情報機器や医書を中心)や神大オリジナルグッズ、文具、日用品の一部や医療衣料を中心とした店舗としました。食堂ホールには柱が無く、全面ガラス窓の非常に開かれた空間となっています。席数等は旧食堂と同じで、車椅子等での利用を想定し通路幅が広く取られています。また、



当生協では初となるデジタルサイネージを、入口ならびに提供カウンター天井部分に設置し、利便性の向上を図りました。業態は異なりますが1階・2階に飲食店があり、少なからず影響があります。今後の課題として、3階の食堂まで来ていただく工夫が必要と考えています。



◇海事科学部食堂の床補修

厨房床の塗装が劣化し、非常に滑りやすい状況となっていました。労働安全衛生の面から、床の滑り止め工事を実施しました。

◇発達科学部食堂の提供カウンターの一部レイアウト変更

発達科学部食堂は、2025年度にリノベーションが計画されています。この計画に先駆け、組合員の利便性向上を目指し、提供カウンターの一部レイアウト変更を行いました。既存のヒートランプを撤去し、新たに温蔵・冷蔵ショーケース等を設置しました。



⑥共済企画「六甲健康ランド」の実施

コロナ禍の3年間、Webでの健康チェックやオンライン相談となっていましたが、今年度は対面で「六甲健康ランド」を開催しました。コロナ禍前は、全キャンパスでの実施が難しかったため、2～3食堂を輪番方式で実施していましたが、3年ぶりの対面実施であることから、実施時間を短縮して六甲地区の全キャンパスで実施しました。



※10月23日はLANS、24日はアカデミア館、25日は工学部、26日は鶴甲第1、そして27日は鶴甲第2の各食堂付近で開催しました。

共済企画は、学生総合共済の活動4本柱(加入・給付・予防提案・報告)の一環として、各大学生協が様々な企画に取り組んでいます。給付ボードの掲示や自転車安全点検等がありますが、当生協では、「六甲健康ランド」として健康チェックや食生活相談を実施しています。今年度は、これまでの健康チェックツールに、地域生協の協力を得てベジチェックを設置しました。



※ベジチェックは、掌を当てるだけで簡単に野菜摂取量が表示されるツールです。学生総合共済に加入の組合員は無料ですが、未加入の場合は500円を頂戴しています。

⑦協同組合等との連携

◇「ひょうごまるごと丼」の提供

10月30日(月)・31日(火)の2日間、JF兵庫漁連から兵庫の水産品、県下のJAより兵庫県産米を無償で提供いただき、海鮮丼を税込280円で提供しました。今年度も引き続き兵庫県から協賛を得られ、森林組合からは新たに兵庫県のスギ間伐材を使用した割り箸(ケース付)



を提供していただきました。

※各食堂において釜揚げシラス丼・赤エイ唐揚げ丼・真鯛てんぷら丼の3種類を、両日で約3,400食提供しました。

◇兵庫県牛乳協会への協力

11月29日(水)に鶴甲第1キャンパス学生センター前で、30日(木)にはLANSBOX食堂前で、それぞれ11時30分から13時の時間帯に「牛乳に対する理解熟成と消費拡大に係るキャンペーン」を開催しました。両日共に天候に恵まれ、11時30分に関連資料と紙パック牛乳(200ml)の配布を開始し、約1時間で終了しました。キャンペーンの開催に際しては、大学への相談ならびに申請、ホームページへの掲載や、公式LINEおよび店舗X(旧Twitter)での開催情報の事前配信、そして当日に使用する机・椅子を提供しました。また、今年度のキャンペーンは兵庫県を通じてプレスリリースも行われました。

※プレスリリースに関しては、神戸大学広報課へ報告しています。

◇フードドライブ活動への協力

学生食品ロス削減プロジェクトチームが実施した、食品ロス軽減活動(フードドライブ活動)に協力しました。

※昨年度も同様の依頼があり、寄付品を保管するスペースを提供することで協力しました。今年度は研究推進部連携推進課と連携し、寄付を募る場所(机や椅子)の提供や各店舗でのポスター掲示で協力しました。

1月15日(月)・16(火)・18(木)の3日間は国際文化学部食堂南側多目的ホール軒下、1月16日(火)・17日(水)の2日間は医学部食堂入口付近にて、各日の12時10分から13時に行われました。お昼休みの限られた時間でしたが、多くの食品を寄付いただき、認定NPO法人フードバンク関西を通じて、困窮しているひとり親世帯等に届けられました。



⑧大学との連携および貢献活動

◇神戸大学育友会との連携

神戸大学育友会より、新入生に生協利用券を贈呈したいとの相談があり、500円券面で2,600枚を発行しました。この利用券と封筒は、当生協にて考案したデザインが採用されました。



◇食堂ホールの有効活用

工学部食堂の夕食営業を除き、食堂の営業時間は昼食対応がメインとなっており、概ね14時以降の閉店後はホールの利用ができなくなります。閉店後、食堂ホールをラーニングスペース等に活用していただくことを検討し、大学と相談の上、LANS HALAL Vege Dining と医学部食堂を開放しました。また、大学共通テスト・入試(前期・後期)・神戸大学附属中等学校の入試時に、受験生および保護者等の控室として開放しました。

なお、感染防止のための卓上パーティションは、5月以降、一部を除き順次撤去しました。

◇マイボトルリサイクルプロジェクトへ終了

神戸大学ならびに日本コカ・コーラ株式会社と連携し、2022年5月に国際文化学部店にボナクワウォーターバー(炭酸水と水)を設置し、「ウォーターサーバーとマイボトルの習慣化に向けた実証実験」を展開しました。この間、マイボトル推進のプロモーションの開催や、神戸大学SDGs推進室と日本コカ・コーラにてや「ボナクアウォーターバーとマイボトルに関する利用実態調査」の実施、「マイボトルとウォーターディスペンサーの習慣化に向けたアイデアコンペティション・ワークショップ」を開催しました。これらの活動により、マイボトルの携帯・利用の習慣化に向けた様々な学びを得ることができました。この実証実験フェーズの終了に伴い、12月25日をもってボナクワウォーターバーの提供を一旦休止することとなりました。



◇留学生ホームカミングデイへの協力

10月28日に百年記念館六甲ホールにおいて、第20回留学生ホームカミングデイが開催されました。今年度も学生委員会が「KUワールドフェスタ」に協力し、「世界のダンスを踊ろう」の企画・運営を担いました。「Let's dance beyond the language」の合言葉のもと、6カ国の7つのダンスを通して、多くの参加者が多文化と交流する場を作ることに貢献できました。



◇神大オリジナルグッズ

学内外での学事・催事の多くが対面で開催され、神戸大学オリジナルグッズの販売を店舗外や店舗休業日に依頼されるケースが増えました。コロナ禍では、大学のUI活動に貢献することができませんでしたが、今年度からは出来る限り要望に応えることができるよう取り組みを強化しました。

実施日	学事等	実施場所
3月24日(金)	卒業式	神戸ワールド記念ホール
4月4日(火)	入学式	神戸ワールド記念ホール
6月10日(土)～11日(日)	第11回看護理工学会学術集会	百年記念館
6月17日(土)	神戸みらい博士育成道場開講式	理学部2棟中庭
8月20日(日)	神戸大学進学相談会	百年記念館
10月7日(土)	海上保安庁「平洋」・神戸大学「海神丸」の船内見学会	神戸ポートターミナル
10月28日(土)	ホームカミングデイ	六甲台本館前中庭
11月3日(金)	神戸医療産業都市一般公開	総合研究拠点1F入り口横
11月11日(土)	六甲祭出店	六甲台本館前中庭
11月12日(日)	六甲祭出店	六甲台本館前中庭

◇データサイエンス PBL 演習への協力

今年度は、第3クォーター・第4クォーターのPBL演習に協力することができました。各クォーターの1回目の講義では大学生協の仕組み等を説明し、7回目は各グループの成果発表、最終講義となる8回目には生協からの講評を行いました。また、食堂の利用データを全受講生が誠実に取り扱ったと感じています。成果発表に際しては、日々の食堂運営に関する答え合わせ(活動方針の成否)や、普段気付かなかったことの発見(改善点)、想定外の提案(チャレンジ)等、どれもが素晴らしい発表でした。今年度は2日間の集中講義にも協力することができ、初日の1限目に大学生

協の説明、2日目の4限目に成果発表と講評を行いました。これらの成果発表は、今後の食堂運営に活かします。

※食堂利用データの提供は、大学と共同研究契約を2022年9月1日に締結しています。

なお、2022年度は第3クォーターのみの協力でした。

◇エシカル消費に関する大学生の行動変容に関する調査協力

ポスターやLINE配信により、各ショップで販売するエシカル商品(RSPOマーク)の購買動向がどのように変容するかの調査に協力しました。

※アンケートに協力した組員には、大学生協アプリのポイントを付与しました。



◇2023年度の大学との業務委託関係(契約等)や寄付等は以下の通りです。

- ・神戸大学構成員への福利厚生に対する業務委託契約・協定書・覚書の締結
- ・学生ホール(食堂ホール)光熱費の一部負担※1
- ・全学ソフトウェアライセンス(MicrosoftのOSとOffice)のインストールサポート
- ・大倉山キャンパス(医学部医学科)を除く自動販売機設置管理業務(5年ごとに入札で2年目)※2
- ・学生証発行に関する業務※3
- ・入学試験合格者への書類発送業務※4
- ・プリント課金システム運用業務
- ・鶴甲第1キャンパス・六甲台第2キャンパス(文理農)の入構パスカード販売
- ・神戸大学ブランドグッズの商品開発、販売※5
- ・可燃ゴミ回収業務(随時契約)
- ・経済経営研究叢書の販売に関する契約(出版物販売契約)
- ・英語外部試験受験料一部支援制度申請受付業務※6
- ・国際人間科学部1年生の英語外部試験実施受託※7
- ・食堂ビッグデータを活用したデータサイエンスAI教育の展開に関する共同研究契約
- ・エシカル消費の実行に関する共同研究契約

※1)厚生補導奨学寄付金として200万円を寄付しました。

※2)自動販売機の供給高の一部として約1,223万円を納付しました。

※3)学生証の表面に組員番号の印字、裏面に生協加入シールを貼ることで組員証として利用しています。学生証発行費用は生協が全額負担しています(約194万円)。また、同窓会・生協に対する個人情報共同利用に同意していただいた新入生のデータを、大学より提供していただいています。

※4)発送費用は生協が全額負担しています(約349万円)。

※5)2023年度は、ロゴマーク使用料約98万円(昨年度23万円)を大学に納付しました。

※6)1年生以外の対象学部生において、2018年度より大学指定の英語外部試験を受験した場合、大学が受験料の一部支援(QUOカード)を行い、その申請窓口業務を生協が請け負いました。

※7)国際人間科学部1年生を対象としたTOEFL-ITPの実施を受託しました。

⑧瀧川記念学術交流会館食堂の返還

コロナ禍の3年間は休業状態となっていましたが、今年度はレストランさくらの手作り弁当販売とイートインコーナーとして営業を再開しました。ただ、LANSBOX食堂の利用やLANSBOX店の手作り弁当購入、さらには工学部食堂へのアクセスが容易になったことにより、瀧川記念学術交流会館への集客が非常に厳しい状況となりました。また、6月のLANS HALAL Vege Diningの営業再開で、この傾向がより強くなりました。

※システム情報学研究科本館東に新しいエレベーター等が設置されたことにより、文理農キャンパスから工学部食堂へのアクセスが格段に良くなりました。

スタッフの採用も計画通りに進まず、休業状態をこれ以上継続するよりは、大学に返還しラーニングコモンズやフリースペースとして有効利用していただくことが組合員にとって最善であると判断しました。大学との協議を経て、瀧川記念学術会館食堂を9月28日に閉店しました。

教職員専用食堂として1992年1月に大学より運営を委託され、これまで多くの皆様にご愛顧いただきました。非常に残念ではありますが、32年の歴史に幕を降ろしました。

⑨能登半島地震災害支援金

1月1日16時10分に石川県能登地方を震度7の地震が襲い、大きき被害が発生しました。被災された皆様が1日も早く安全で平穏な生活に戻られますことを心よりお祈りいたします。当生協では、各キャンパスの食堂とショップに募金箱を設置し、組合員に協力をお願いしました。2月20日には、生協学生委員会の企画で得た収益と合わせて、日本生活協同組合連合会へ28,519円を送金いたしました。この支援金は、被害の大きかった自治体や、被災者支援活動を行う団体等へ送金されます。



各事業部活動報告

【ショップ事業部活動報告】

1. 損益数値(予算比)

① 供給高予算達成：105.5%(+78,494千円)

購買分野・書籍分野は予算未達も、旅行サービス分野の大幅伸長で事業部全体として予算達成。

☞購買/書籍分野は校費利用の大きな減少が主要因となり予算未達となりました。

☞旅行サービス分野は、コロナ規制緩和による需要拡大にしっかり対応し、海外国内旅行ともに大幅伸長、また前年度より先行して利用回復傾向にあった自動車教習所においても、前年予算を超過する結果となりました。

② 供給剰余高予算達成：103.6%(+7,346千円)

GPRの低い旅行サービス分野の供給高に牽引された関係で、供給剰余高の伸長率は供給高に比べ低くなりました。

③ GPR：予算未達 予算14.0% 実績13.8%

④ 人件費：予算超過103.1%(+4,804千円)

職員給与はほぼ予算通り(100.7%)も、定時職員給与(103.0%)と法定福利費、厚生費が大幅超過となり予算超過執行となりました。

⑤ 物件費：予算超過100.2%(+130千円)

費目により予算増減に波がありますが、トータルではほぼ予算通りの執行となりました。

⑥ 事業剰余高：予算達成102.5%(+2,451千円)

ショップ事業部全体で97,964千円でした。前年実績比124.3%(+19,199千円)

2. 2023年度重点課題の取組結果

① 労働分配率の維持 22年度実績51.8% 23年度目標51.3% 23年度実績51.6%

目標値には達しませんでした。店舗稼働率が上がる中、前年実績値より改善しました。

② 客数アップ

☞3つの時間帯に分けそれぞれの時間帯に応じた客数対策を行います。

1) 12:10~12:30の超混雑時対策

物理的な改善(レジ増設)は実施できませんでしたが、生協アプリ側のシステム改修や業務オペレーション改善と研修を行い、レジ処理速度のアップを行いました。

※一方でシステム障害に起因するトラブルで、組合員にご迷惑をお掛けした事象の発生もありました。

2) 上記時間帯を除く昼休み時間帯対策

昼休み時間帯内での時差利用促進策について検討を進めました。時間帯別で生協アプリポイント付与upの設定が可能になり、具体化に向け諸課題の整理を進めています。

3) 1限後・3限後休み時間帯対策

「楽しさ」「ワクワク感」ある企画を積極的に導入しました。

☞普段取り扱わないTVや通販等で人気のデザート(清水屋・八天堂・単位パン)、ご当地お菓子などをスポット企画として定期的に展開しました。



☞試験応援・学祭応援企画等、学内催事に合わせた企画を実施しました。



☞蒟蒻ミニゼリー袋詰め放題企画を全店で実施し、大勢の組合員に楽しんでいただきました。



【フードサービス事業部活動報告】

1. 損益数値(予算比)

・客数・供給高

供給高 109.1%、客数は 103.1%、客単価 101.4%で客数・客単価とも予算を達成しました。
コンパ、ケータリングが大幅に増え、供給を押し上げました。

・供給剰余高・GPR(供給剰余率)

供給剰余高 108.8%、弁当の振替剰余が好調で供給剰余が伸長しました。食材原価の高騰は続きましたが、ほぼ計画通りに遂行しました。

・人件費

最低賃金の上昇などパートタイマーの賃金の上昇により 101.4%と増加しました。

・物件費

医学部食堂の新店設備、各店舗設備修繕、老朽化による設備の安全衛生の改善等が重なり、施設維持管理費、修繕費用が予算比で 3,600 千円超過しました。水道光熱費は、87.3%執行(4,886 千円減少)と大幅に削減できました。

・事業剰余高

全体で 24,170 千円、予算比 19,788 千の大幅超過達成となりました。

2. 運 営

・昼の混雑緩和対策に加え様々な利用のニーズに挑戦しました。

・基本食堂は、カフェテリア業態で昼営業を中心に混雑緩和に努めました。

・通常メニュー以外にフェアメニューを毎月実施し利用する楽しさを演出しました。

・5月より瀧川記念会館食堂で、イートインが出来る手作り弁当を販売しましたが、利用が伸びず9月に大学に返還しました。

・5月以降懇親会が激増しました。学会やシンポジウム後の懇親会など可能な限り対応しました。

・6月より留学生対応のため、LANS HALAL Vege Dining (LANSBOX 食堂 2F)の営業を再開しました

・6月より医学部食堂を新施設で営業開始しました。

・11月より BELBOX カフェテリアの土曜日営業にチャレンジしました。

・閉店後の施設の有効活用を行いました。

医学部食堂では、閉店後にラーニングコモンズとして、LANS HALAL Vege Dining では閉店後の団らんスペースとして、食堂のホール開放を行いました。

・混雑緩和のためテイクアウト商品強化を強化しました。

手作り弁当を年間通し購買で販売しました。4月は国際文化学部食堂、4月から7月まではレストランさくらにて手作り弁当の製造・販売を行いました。

・レジスピードを、システム改修以前(2022年度以前)まで近付ける事が出来ました。

速度改善のためアップデートを重ね、操作の省略化などレジ1台あたり 5人/分程度まで回復し、レジ人員体制も以前の水準に戻りました。

・価格改定を実施しました。

原材料・原油・物流費高騰・円安等の影響で従来の価格を維持する事が困難な状況になったため、3月6日より価格改定を実施しました。

【総務部】

1. 2023年度第67回総代会にて定款の一部変更を行い、COOP共済保険商品の全てを取り扱えるようになりました。まだまだ加入はこれからとなりますが、大きな一歩を踏み出すことができました。
2. 組合員サポートデスクの全スタッフがコープ共済連の研修を受講し、専門的な知識の習得することに尽力しました。
3. コロナ禍の3年間、共済企画「六甲健康ランド」を開催することが叶いませんでしたが、2023年度は開催することが叶いました。この企画を通して、多くの組合員の食生活相談や予防提案を行えました。
4. 将来の人員体制を整えるため、採用活動を行いました。結果、人件費が増加することとなりましたが、順調に育成が進んでいます。
5. これまで明確な規則がなかったため、学生委員会の規則を作成しました。作成した規則は、「学生委員会規則」「学生委員会運営規則」「学生委員会入退会規則」の3つです。
6. 2024年10月からの社会保険適用拡大に向け、全パートタイマーを対象に学習会を開催しました。
7. 各店舗の印刷費用の軽減を考え、総務部にて商談を進めた結果、複写機を入れ替えることが実施しました。これまで複写機が無かった店舗にも設置でき、かつ個々のプリンターをこの複写機の使用に統一することで経費の削減に貢献できました。
8. 勤怠管理に関して、各店舗のシフト管理や給与システムへのデータ取込の簡略化、さらには経営分析として活用拡大を目指し、システム導入の検討を開始しました。
9. 各食堂の営業釣銭の準備や銀行入金処理等に関して、合理化の一環として外部委託を実施しました。毎日、スタッフが銀行に行くことが大きな負担となっていました。また、銀行の両替手数料の値上げや、硬貨に対する入金手数料の徴収等の費用負担も大きくなったことから、外部への委託を判断しました。

学生委員会活動報告

神戸大学生協学生委員会
委員長 西田 駿

学生委員会(以下 GI)の 2023 年度活動報告【イベントの企画や冊子の発行等】は以下の通りです。

《冊子》

組合員向け機関紙 Rambler Times No.149~150

- 【目的】①組合員に生協についての情報を伝える。
②GI が生協組織であることを組合員に認知させる。
③組合員からの GI の解像度を上げる。

【概要】神戸大学生協機関紙 Rambler Times の発行
【発行部数】No.149：4,500 部、No.150：1,800 部



受験生向け冊子(神大 Navigator'23)

- 【目的】①受験生の神戸大学入学後の不安を軽減する。
②受験生に神大の魅力を伝えることで神大に行きたいと思ってもらう。

【概要】神大 Navigator'23 の発行

【発行部数】17,000 部

- 【発行方法】・郵送(大学案内等と同梱しテレメール等で配布)
・インターネットでの公開
(神戸大学入試課「受験生ナビ」)
・学生委員の母校に直接設置



新入生向け冊子(うりぼう 2023)

- 【目的】①新入生に神大の生活を知ってもらい、
大学生活の不安を解消してもらう。
②新入生に生協のサービスについて知ってもらい、
活用したいと思ってもらう。

【概要】うりぼう 2024 の発行

【発行部数】3,500 部

【発行方法】新入生合格袋に同封。



マナー啓発企画(のぼるん)

- 【目的】①神大生にマナーが必要な場面を知ってもらう。
②神大生に正しいマナーとその理由を知ってもらう。

- 【概要】・マナーブックの作成と発行
・マナーに関する Instagram 投稿の作成と投稿
・全体部会内でのマナー講習（ゲーム形式）の企画

【発行部数】1,000部

【発行方法】部員への手渡し



《イベント》

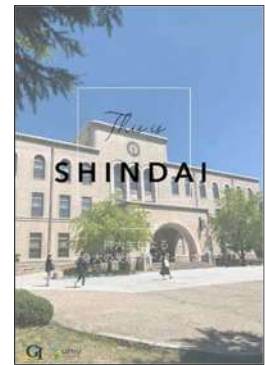
受験生相談会企画(TIS)

- 【目的】①受験生の受験に対する不安を解消してもらう。
②神大の魅力を伝えることで神大を受験したいと思ってもらう。

- 【概要】①受験生相談会の開催。
(対面・オンライン)
②受験生紙資料の配布

【日時場所】オンライン：8/19(金) @Zoom
対面：8/20(土) @百年記念館

【結果】オンライン：84名
対面：142名



主権者教育企画(GO TO ELECT)

- 【目的】①選挙や投票との心理的距離を近づけ、投票に行くハードルを下げること。
②投票方法や投票基準について理解を深め、投票に挑戦してもらう土台を作ること
③身の回りの環境を変えることに対して、自分の1票がもつ価値や重要性を体感してもらうこと。

- 【概要】①模擬投票の実施
②食堂とコラボしたフェアの開催



- ③法学部の授業での出張講義、協議会での報告
- ④リーフレットの配布、Instagram の投稿の作成と投稿

【日時場所】 ①7/3~5 @国際文化学部食堂出口
 ②7/18~20 @国際文化学部食堂出口
 ③5/16 2限、6/1

【結果】 ①526名



環境問題啓発企画(Reduce Recycle)

【目的】 ①環境問題との心理的距離を近づけ、ごみの分別やリサイクルをするハードルを下げること。
 ②ごみのリデュース・リサイクルの方法・重要性を知り、その行動をとるスタートラインに立つこと。

【概要】 ①リデュース、リサイクルをテーマにしたクイズ
 ②ゲームイベントの開催

【日時場所】 7/11~13日 14:30~18:00

【結果】 ①114名 ②43名



SNS 運用企画(まおプロ)

【目的】 ①GI の SNS アカウントで組合員のニーズに応えるような情報発信をする。
 ②GI の SNS アカウントのフォローを増やし、GI の認知度をあげて、企画による価値還元効率化を図る。

【概要】 ①Instagram、X での投稿 ②フォローアップキャンペーン
 ③新歓祭の運営

【日時場所】 ①Instagram: 5日に一回 X:不定期
 ②4/24・25 12:10~13:00

【結果】 ①年間64個の投稿を行いました
 ②100人の新規フォロワーを獲得できました。



栄養管理啓発企画(モーリー食堂)

【目的】 神大生に栄養バランスについて考えるきっかけを与える。

【概要】 神大生に向け、Instagram で食堂のメニューに関するクイズを出題する。

【日時場所】 10/23~27

【結果】 5日間合計361名の参加者



フリーマーケット企画(GI冬のフリマツリ！)

- 【目的】①服や小物、本を手放す機会を作る。
 ②服や小物、本を安全・安価に購入できる機会を作る。
- 【概要】①神大生から服や小物、本を回収し、フリーマーケットを開催する。
 ②イベント宣伝のためのポスター・Instagram投稿の作成と投稿。
- 【日時場所】服回収期間：12/5~1/15
 フリーマーケット開催期間：1/10.11.15 14:30~17:30
- 【結果】回収点数：482点 当日来場者数：274名
 売上合計：18,446円 売上点数：163点
 売上は、能登半島地震支援金に全額寄付しました。



単日新歓企画(Special24)

- 【目的】新入生の不安を解消する。
- 【概要】新入生向け単日新歓イベントを行う(3日間)。
- 【日時場所】3/19・21・22 @神戸大学、六甲周辺
- 【結果】106名の参加



新入生勧誘企画(勧誘)

- 【目的】勧誘を通して新入生にGIの雰囲気を感じてもらおうとともに、GIに興味を持ってもらうことでGIに入りたいと思ってもらう。
- 【概要】勧誘活動を行う
- 【日時場所】3/31 六甲周辺 4/2 鶴甲第一キャンパス体育館

4/8 LANS ベジダイニング

4/9 LANS ベジダイニング

4/9 LANS ベジダイニング

4/11 LANS ベジダイニング

4/14 鶴甲第一キャンパス体育館

4/17 LANS ベジダイニング

4/18 LANS ベジダイニング

【結果】 146人(全日程)



第1号議案－2 事業報告書および決算関係書類等

2023年度事業報告書

2023年3月1日から2024年2月29日

作成 2024年3月27日

兵庫県神戸市灘区六甲台町

備付 2024年5月2日

神戸大学生協同組合

理事長 西野 友年

1. 組合の事業活動の概況に関する事項

1. 事業年度の末日における重要な事業活動の内容

事業種目	主な事業品目等
供給 及び 利用 事業	物品供給 書籍・学用品・教育機器・衣料品・電気製品・家具・その他組合員の日常生活に必要な物資を供給する事業
	サービス 国内・海外旅行等の旅行事業を取り扱う事業
	提供 アパート・下宿の斡旋及び管理する事業 その他日常生活に必要なサービスを提供する事業 組合員に食事を提供する事業
その他	組合員のための生命共済・火災共済の業務受託事業 組合員への教育・文化活動 就職活動支援情報提供の各種の取り組み、留学生等の支援、外国の協同組合との交流

2. 事業の経過及びその成果並びに対処すべき重要な課題

1. 事業の経過及びその成果

(1) 事業方針

2023年度は活動計画の中心に【「通学＝生協利用」の強化】【コロナを言い訳としない事業・活動の構築】【新システムへの対応】【原点回帰】の4つの柱を据え、取り組みました。

(2) 経済及び事業環境

新入生支援活動は、ほぼ計画通りに取り組むことができました。5月には新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行され、基本対面授業、課外活動の規制や制限の緩和等、キャンパスを取り巻く環境が大きく変わりました。ただ、一部遠隔授業(オンライン授業)やハイブリット授業が少なからずあります。

(3) 事業の状況

上半期の利用は回復傾向が顕著となりましたが、下半期では鈍化傾向となりました。

また、校費利用がこれまでにない水準で減少しました。2020年6月に日本政策金融公庫から借り入れしました、新型コロナウイルス感染症特別貸付3,000万円は、2023年6月に全額を返還しました。

(4) 事業経費

1) 組合員数及び出資金

当期末の組合員数は20,832名(前年度比△241名)、出資金は3億7,775万円(前年比△138万円)となりました。組合員数の減少は、これまでの出資金返還への取り組みによる効果が現れ始めた結果です。

2) 供給事業

総供給高は 20 億 4,959 万円で、前年度対比+10.4%、予算対比+6.4%となりました。

ショップ事業部では前年度対比 6.3%、予算対比+5.5%、フーサービス事業部では前年対比+23.2%、予算対比+9.1%となりました。フードサービス事業部の供給高が大きく増加しましたが、ショップ事業部は、新入生支援活動が好調であったことや上半期の利用が回復にて増収を見込んでいましたが、下半期の利用減少ならびに校費利用の低迷により厳しくなりました。

3) その他事業

1 億 5,629 万円となり、前年対比は△0.9%、予算対比△3.3%となり減収ならびに予算未達成となりました。2022 年度より新入生支援活動に関する各手数料が減収です。

また、就職支援関係の手数料を含め、全体的に減収傾向となっています。学生総合共済を含む共済保険商品における手数料は、2022 年度実績を維持できました。

4) 事業経費

人件費は 4 億 1,234 万円(前年対比+7.0%、予算対比+3.3%) で、物件費は 2 億 8,295 万円(前年対比△2.1%、予算対比+7.3%) です。人件費は最低賃金が大きく改定されたことが大きな要因です。また、物件費の増加の一番大きな要因は、大学生協アプリへのクレジットチャージや、厨房機器等の買替や修理が大きな要因です。また、事業連合への委託費も年度末精算により増加しました(事業連合の運営費は、年度末にて前年度比で収益が増加した場合は追加精算、減益した場合は返戻されます)。

5) 事業外損益

事業外収益は、大学生協共済連解散の残余財産分配金に対する源泉所得税還付 2,505 万円、未返還出資金の整理益 932 万円を雑収入に計上しました。事業外費用は、医学部店の新施設移転費用、瀧川記念会館食堂閉店に要する費用が予算未計上のため、予算外執行として雑損失に計上しました。

6) 特別損益

特別利益には、卒業予定者による生協支援金への寄附、特別損失には固定資産除却損を計上しました。

7) 当期剰余金

税引前当期剰余金は 277 万円で、99 万円の予算未達成となりました。法人税等を控除した当期剰余金は、174 万円となりました。

2. 対処すべき重要な課題

重要な展望と課題

利用の増加(特にショップ事業部)と校費利用減への対応が重要な課題です。

(1) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(単位:円)

項 目	2020年度	2021年度	2022年度	本年度
組合員数(人)	20,907	20,909	21,042	20,832
出資金額	379,370,000	379,381,000	379,144,000	377,758,000
供給高	1,344,710,492	1,571,173,026	1,855,901,231	2,049,592,136
その他事業収入	126,526,785	145,843,710	157,865,430	156,293,766
経常剰余金	△ 104,295,297	△ 104,682,091	△ 56,962,219	3,069,899
総資産	768,064,033	684,523,804	772,570,372	790,857,600
純資産	277,043,879	182,418,921	258,987,624	259,347,169

(2) 供給事業の状況表

1) 部門別・業態別供給高の状況

(単位:円)

項目	2020年度	2021年度	2022年度	本年度
[部門別供給高]				
購買	707,212,404	749,890,548	792,039,436	773,174,917
旅行サービス	219,055,122	265,837,779	324,325,348	435,913,268
書籍	253,078,441	267,590,889	263,898,487	257,579,428
食堂	165,208,793	287,553,235	475,722,492	582,959,115
その他	155,732	300,575	△ 84,532	△ 34,592
合計	1,344,710,492	1,571,173,026	1,855,901,231	2,049,592,136
[業態別供給高]				
店舗	1,344,710,492	1,571,173,026	1,855,901,231	2,049,592,136
合計	1,344,710,492	1,571,173,026	1,855,901,231	2,049,592,136

2) 供給高の事業所別内訳

(単位:円)

店舗名	2020年度	2021年度	2022年度	本年度
国際文化学部店	320,554,551	346,631,920	362,322,082	319,687,244
医学部店	172,569,034	184,055,517	184,388,814	175,344,643
保健学科店	7,424,268	18,342,850	21,033,245	21,644,321
BELBOXショップ	48,796,718	85,403,639	124,092,415	153,618,703
発達科学部店	202,782	9,777,379	15,064,145	15,110,954
工学部店	1,423,161	—	—	—
キャリアデザイン企画課	—	3,419,819	5,073,972	6,889,094
海事科学部ショップ	27,568,190	35,131,128	35,299,467	33,020,928
サービスセンター	206,219,429	255,088,430	329,518,040	452,202,429
LANSBOX店	32,807,941	35,316,820	45,597,038	53,510,201
学生会館店	204,750,022	166,570,546	113,648,820	70,304,533
附属中等店学校店	2,212,593	5,627,809	9,357,723	12,049,999
店舗支援課	832,825	672,753	—	55,619
キャンパスPC	163,502,780	155,736,363	165,046,389	186,933,838
国際文化学部食堂	4,010,352	11,434,934	62,260,839	81,944,676
BELBOXカフェテリア	2,250,698	10,407,725	31,959,449	43,122,468
レストランさくら	12,329,732	8,412,581	18,579,288	45,049,264
工学部食堂	64,635,324	117,935,233	162,003,152	183,089,629
LANSBOX食堂	26,741,694	48,409,575	66,310,695	78,717,793
瀧川記念会館食堂	933,904	480,911	—	—
発達科学部食堂	818,993	4,862,597	14,971,847	16,052,985
医学部食堂	38,214,886	53,185,303	63,251,283	70,646,987
保健学科食堂	553,450	4,857,748	9,076,175	10,570,546
海事科学部食堂	5,331,357	9,411,446	17,046,353	20,025,282
食堂事務所	25,808	—	—	—
合計	1,344,710,492	1,571,173,026	1,855,901,231	2,049,592,136

(3) 受託共済事業状況表

1) 加入者数の状況

(単位:件)

共済事業の種類	元受団体名	加入者数		
		本年度	前年度	前年比
学生総合共済 (生命共済)	日本コープ 共 済 連	10,566	10,131	104.3
学生総合共済 (火災共済)		38	71	53.5
《たすけあい》 (生命共済)		6	2	300.0
(注) 2024年2月29日現在計		10,610	10,204	104.0

2) 元受団体共済掛金及び共済金支払の状況

(単位:円、件)

共済事業の種類	元受団体名	元受団体共済掛金			共済金支払件数			共済金支払金額		
		本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比
生命共済	日本コープ	152,786	148,517	102.9	1,044	3,283	31.8	63,321	201,658	31.4
火災共済	共 済 連	76	142	53.5	0	0		0	0	
合 計		152,862	148,659	102.8	1,044	3,283	31.8	63,321	201,658	31.4

3. 増資及び資金の借り入れその他資金調達状況

該当する事項はありません。

4. 組合が所有する施設の建設または改修その他の設備投資状況

設備投資概況表

施 設 ・ 設 備 名	所 在 地	摘 要
医学部食堂 デジタルサイネージ配線工事	中央区楠町7丁目12-1	23年3月取得
LANSBOX食堂 冷凍冷蔵庫	灘区六甲台町1-1	23年6月取得
工学部食堂 水切り機	灘区六甲台町1-1	23年6月取得
医学部食堂 デジタルサイネージディスプレイ6台	中央区楠町7丁目12-1	23年7月取得
工学部食堂 コンビオーブン	灘区六甲台町1-1	23年8月取得
国際文化学部食堂 サムソンポイラー	灘区鶴甲1-2-1	24年1月取得
LANSBOX食堂 湯沸し器	灘区六甲台町1-1	24年1月取得
医学部食堂 温蔵庫	中央区楠町7丁目12-1	24年2月取得
国際文化学部店 給湯器2台	灘区鶴甲1-2-1	24年2月取得
LANSBOX食堂 ガススープウォーマー	灘区六甲台町1-1	24年2月取得
海事科学部食堂 遠赤外線温蔵庫	東灘区深江南町5-1-1	24年2月取得
発達科学部食堂 温蔵庫	灘区鶴甲3-11	24年2月取得
BELBOXカフェテリア IHローレンジ	灘区六甲台町2-1	24年2月取得
国際文化学部店 卓上湯沸し器2台	灘区鶴甲1-2-1	期中除却
医学部店 調設備3台	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部店 空調設備1台	中央区楠町7丁目12-1	期中除却

医学部店 冷蔵ショーケース	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部店 冷蔵ショーケース	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 冷凍庫	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 ガスゆで麺機	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 ガスフライヤー	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 コールドショーケース	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 厨房天吊型エアコン2台	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 厨房天吊型エアコン	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 プレハブ冷蔵庫	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 洗浄室天吊型エアコン	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 サラダバー什器	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 電気温蔵庫	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 湯沸器	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 レジ台 3台	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 アイスメーカー	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 ガス自動炊飯器	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 コールドテーブル	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 ホットフードカート	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 移動式キャビネット	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 ウォーマーテーブル	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
医学部食堂 サラダバー	中央区楠町7丁目12-1	期中除却
サービスセンター 冷蔵庫	灘区鶴甲1-2-1	期中除却
サービスセンター POSレジ	灘区鶴甲1-2-1	期中除却
工学部食堂 コンビオープン	灘区六甲台町1-1	期中除却
工学部食堂 麺水切り機	灘区六甲台町1-1	期中除却
LANSBOX食堂 冷凍庫	灘区六甲台町1-1	期中除却
瀧川記念会館食堂 間仕切り	灘区六甲台町1-1	期中除却
瀧川記念会館食堂 コンベクションオープン	灘区六甲台町1-1	期中除却
瀧川記念会館食堂 冷凍庫	灘区六甲台町1-1	期中除却
瀧川記念会館食堂 厨房エアコン	灘区六甲台町1-1	期中除却
瀧川記念会館食堂 洗浄機	灘区六甲台町1-1	期中除却

5. 他の法人との業務上の提携

業務提携先	所在地	提携内容
大学生協事業連合	東京都杉並区和田3-30-22	業務委託
国立大学法人 神戸大学	神戸市灘区六甲台町1-1	業務委託

6. 他の会社を子会社等及び関連法人等とすることとなる場合における当該他の会社の株式または持分の取得
該当する事項はありません。
7. 事業の全部または一部の譲渡又は譲受け、合併その他の組織の再編成
該当する事項はありません。
8. 教育事業の状況

(単位:円)

項 目		金 額
当期に繰り越された教育事業等繰越金		0
教育事業等の使途		
科 目	内 容	金 額
教育文化費	学生委員会機関紙発行	468,519
	組合員向け企画諸費用	308,220
	新入生歓迎企画	166,020
	新入生歓迎冊子	303,010
	学生委員会活動費	415,824
	セミナー参加費	159,070
合 計		1,820,663

II. 組合の運営組織の状況に関する事項

1. 前事業年度における総代会の開催状況

第 67 回通常総代会

総代会開催日	2023年5月25日		
総代会日現在総代数	123名		
出席総代数	本 人	1名	
	代理人(委任)	0名	
	書 面	122名	
合 計		123名	
(重要な議事、議決事項および議決状況)			
第 1 号議案	2022年度事業報告・決算関係書類等承認の件	賛成122票	保留0票 反対0票
第 2 号議案	2023年度事業計画及び予算決定の件	賛成122票	保留0票 反対0票
第 3 号議案	役員選出の件	全員信任	
第 4 号議案	定款の一部変更	賛成122票	保留0票 反対0票
第 5 号議案	役員報酬決定の件	賛成122票	保留0票 反対0票

(注) 総代選挙は、総代選挙規約に基づいて行われ、125人の定数に対して123人が立候補し、選挙の結果 2023年5月2日当選人が公告されました。

2. 組合員に関する事項

(1) 組合員出資金等増減表

(単位:円)

区 分	組合員数	口 数	組合員出資金総額	一人当組合員出資金額
期首現在	21,073	379,144	379,144,000	17,992
期首現在(学生・院生)	19,696	368,542	368,542,000	18,712
期首現在(教職員その他)	1,377	10,602	10,602,000	7,699
当期増加分(学生院生)	3,664	73,501	73,501,000	20,060
当期増加分(教職員その他)	309	1,937	1,937,000	6,269
当期減少分(学生院生)	3,898	75,056	75,056,000	19,255
当期減少分(教職員その他)	316	1,768	1,768,000	5,595
期末現在(学生院生)	19,462	366,987	366,987,000	18,857
期末現在(教職員その他)	1,370	10,771	10,771,000	7,862
期末現在	20,832	377,758	377,758,000	18,134

(2) 地区別組合員概況表

(単位:円)

区 分	組合員数	口 数	組合員出資金総額	一人当組合員出資金額	
1.国際文化学部地区	学生・院生	7,581	148,030	148,030,000	19,526
	教職員	65	358	358,000	5,508
2.六甲台地区	学生・院生	3,431	63,930	63,930,000	18,633
	教職員	74	749	749,000	10,122
3.文理農学部地区	学生・院生	3,125	60,813	60,813,000	19,460
	教職員	923	6,599	6,599,000	7,150
4.工学部地区	学生・院生	1,995	38,005	38,005,000	19,050
	教職員	67	650	650,000	9,701
5.発達科学部地区	学生・院生	307	5,763	5,763,000	18,772
	教職員	37	338	338,000	9,135
6.楠地区	学生・院生	905	17,555	17,555,000	19,398
	教職員	138	1,622	1,622,000	11,754
7.名谷地区	学生・院生	725	14,376	14,376,000	19,829
	教職員	13	125	125,000	9,615
8.深江地区	学生・院生	785	15,475	15,475,000	19,713
	教職員	10	115	115,000	11,500
9.附属中等教育学校地区	学生・院生	608	3,040	3,040,000	5,000
	教職員	43	215	215,000	5,000
合 計	学生・院生	19,462	366,987	366,987,000	18,857
	教職員	1,370	10,771	10,771,000	7,862
総計		20,832	377,758	377,758,000	18,134

3. 役員に関する事項

(1) 役員一覧

役名	氏名	担当	就任年月日	略歴等
理事長 (代表理事)	西野 友年		2009年5月27日	理学研究科教員 2019年5月より理事長
専務理事 (代表理事)	坂本 安弘		2015年5月28日	2015年5月より専務理事
常任理事	朴 鐘祐		2011年5月27日	人文学研究科教員 2020年5月より常任理事
〃	中川 歩美		2020年5月30日	農学研究科1年生
〃	西岡 大輝	学生委員会委員長	2022年5月26日	経営学部3年生
〃	岡川 功	ショップ事業部長	2018年5月24日	生協職員 2018年5月より常任理事
理事	向井 洋一		2013年5月27日	工学研究科教員
〃	横川 博一		2015年5月28日	大学推進機構教員
〃	石丸 幸勢		2015年5月28日	附属中等教育学校教員
〃	小澤 卓也		2020年5月30日	国際文化学研究科教員
〃	長坂 耕作		2020年5月30日	人間発達環境学研究科教員
〃	元井 直樹		2022年5月26日	海事科学研究科教員
〃	村尾 宙俊		2021年5月27日	経営学部3年生
〃	富田 実由		2022年5月26日	国際人間科学部3年生
〃	佐久間 蒼立		2022年5月26日	法学部3年生
〃	山本 真聖		2022年5月26日	工学部3年生
〃	宮田 祥羽		2022年5月26日	工学部3年生
〃	水野 奈津		2022年5月26日	農学部3年生
〃	西田 駿		2023年5月25日	工学部2年生
〃	畑中 美南		2023年5月25日	国際人間科学部2年生
〃	越智 亜未		2023年5月25日	法学部2年生
〃	川崎 海音		2023年5月25日	農学部2年生
〃	守谷 彩花		2023年5月25日	工学部2年生
〃	古橋 みのり		2023年5月25日	農学部2年生
〃	木村 祐一		2016年5月26日	生協職員
監事	大谷 恭弘		2017年5月26日	工学研究科教員
〃	小紫 裕正		2021年5月27日	学外者
〃	上根 大輔		2022年5月26日	大学職員

(2) 事業年度中に辞任した役員

該当なし

4. 職員数及びその増減その他の職員の状況

職員状況表

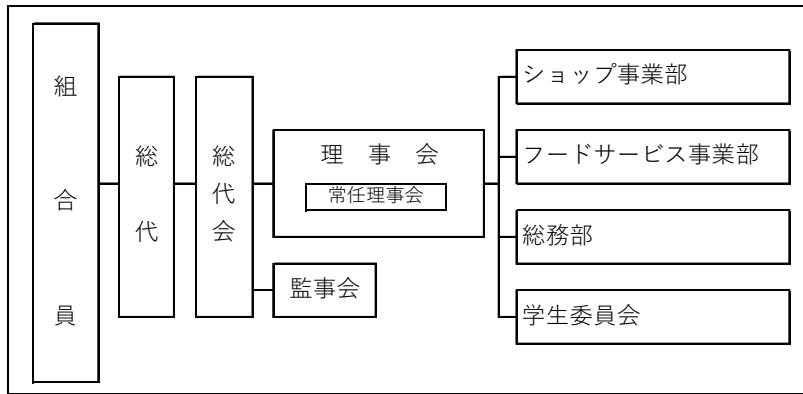
区分		前期末数	当期末数	平均年齢 平均勤続年数
正規職員		16名	18名	42歳 12年
定時職員	時間数 (総数)	196,763時間 (198名)	203,480時間 (223名)	/
	正規換算数	98名	102名	

(注1) 正規職員の総人数は、年間2,000時間をもって1名として換算しています。

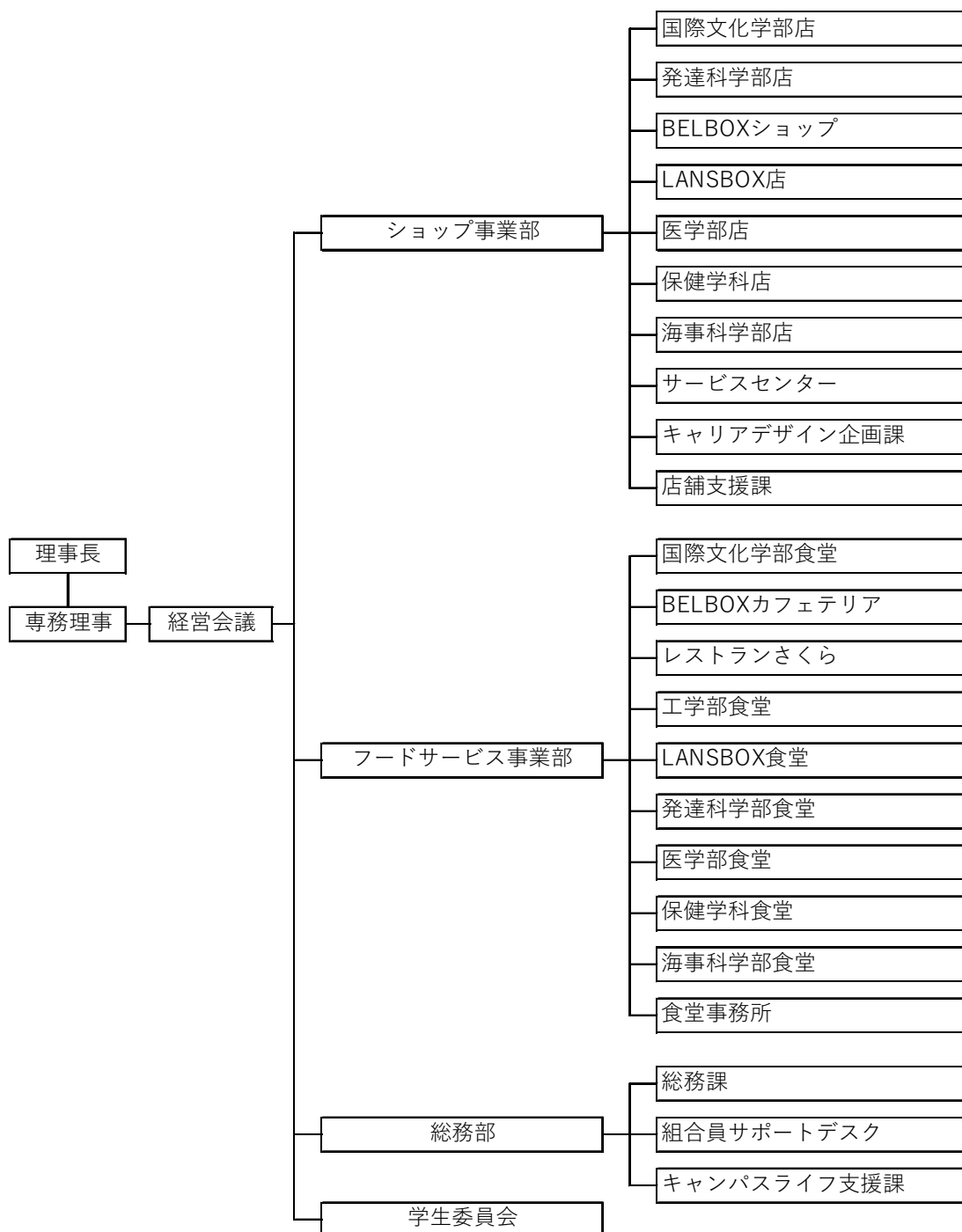
(注2) 上表には出向受入者1名を含んでいません。

5. 業務の運営の組織に関する事項

(1) 運営組織図



(2) 経営組織図



6. 施設の設置状況に関する事項

施設一覧表

土地・建物は、国立大学法人神戸大学より無償にて使用許可頂いています。

この表では、当該施設の面積(単位 m²)と新営・増築、または改装の時期を示しています。

なお、食堂は厨房面積ではなく、食堂ホール部分も含めて表示しております。

施設名	所在地	面積 (m ²)	概要	
1. 総務部	灘区鶴甲1-2-1	199.19	1987年 4月新営	2013年 9月改装
2. 食堂・喫茶・ショップ				
国際文化学部食堂	灘区鶴甲1-2-1	960.0	1964年 3月新営 2008年12月改装	1994年 9月増築 2016年 9月改装
BELBOXカフェテリア	灘区六甲台町2-1	939.0	2003年 1月新営	
レストランさくら	灘区六甲台町2-1	352.0	2003年 1月新営	
工学部食堂	灘区六甲台町1-1	441.7	1973年 3月新営 2014年 8月改装	2006年 2月改装 2020年8月改装※1
			※1 工学部店をテイクアウト手作り弁当コーナーへ改装(50.7m ²)	
LANSBOX食堂	灘区六甲台町1-1	533.0	1985年 4月新営	2016年 9月2階食堂改装
発達科学部食堂	灘区鶴甲3-11	378.0	1968年11月新営 2008年12月改装	2007年 3月改装 2021年 3月改装
医学部医学科食堂	中央区楠町7-12-1	701.0	1988年 4月新営	2010年 6月移転
医学部保健学科食堂	須磨区友が丘7-10-2	240.0	1984年 4月新営	2021年 4月改装
滝川記念学術会館食堂	灘区六甲台町1-1	190.0	1991年10月新営	2023年 9月閉店
海事科学部食堂	東灘区深江南町5-1-1	224.0	2003年10月新営	2021年 7月改装
国際文化学部店	灘区鶴甲1-2-1	406.64	1964年 3月新営 2008年 8月改装	1979年11月増築
サービスセンター	灘区鶴甲1-2-1	82.69	1964年 3月新営 2008年12月改装	1996年 9月増築
BELBOXショップ	灘区六甲台町2-1	667.22	2003年 1月新営	2022年 8月増設※2
			※2 学生会館店を事業併合(321.3m ²)	
LANSBOX店	灘区六甲台町1-1	132.82	1985年 4月新営 2006年 9月改装 2012年 9月改装	2005年 9月改装 2011年 2月改装
発達科学部店	灘区鶴甲3-11	68.04	1968年11月新営 2007年 3月改装	1982年10月改装 2008年12月改装
医学部医学科店	中央区楠町7-12-1	100.0	1988年 4月新営	2010年 8月改装
医学部保健学科店	須磨区友が丘7-10-2	48.75	1984年 4月新営 2021年 4月改装	2010年12月改装
海事科学部ショップ	東灘区深江南町5-1-1	107.8	2003年10月新営	2021年 7月改装
附属中等学校店	東灘区住吉山手5-11-1	25.28	2014年10月新営	2015年 4月営業開始
3. 倉庫				
書類倉庫	灘区鶴甲1-2-1	45.13	2002年10月新設	

7. 子会社等及び関連法人等の状況に関する事項

該当する事項はありません。

8. 事業連合に関する事項

(1) 事業連合の概要

区分	関連法人等
会社名	生活協同組合連合会大学生協事業連合
所在地	東京都杉並区和田3-30-22
代表者氏名	理事長 井内 善臣
設立年月日	1969年10月1日創立、同年12月19日都知事認可
事業内容	<p>(1)会員の事業に必要な物資を購入し、これに加工もしくは加工しないで、又は生産して会員に供給する事業</p> <p>(2)会員の組合員の生活に有用な協同施設を設置し、会員及び会員の組合員に利用させる 事業</p> <p>(3)会員の組合員の生活の改善及び文化の向上を図るために必要な行事等の企画及び実施又はこれらに関連す情報を提供する事業</p> <p>(4)会員、会員の組合員及び役職員並びにこの会の役職員の組合事業に関する知識の向上を図るために必要な教育を行い、及び情報を提供する事業</p> <p>(5)会員の組合員のための宅地建物取引業法に基づく宅地建物取引業に関する事業</p> <p>(6)会員の組合員のための旅行業法に基づく旅行業に関する事業</p> <p>(7)会員の組合員のための古物営業法に基づく古物営業に関する事業</p> <p>(8)会員の利用に供する計算、運搬に関する事業</p> <p>(9)会員の事業の支援、連絡並びに調整に関する事業</p> <p>(10)前各号の事業に附帯する事業</p>
設立の理由	協同互助の精神に基づき、全国大学生生活協同組合連合会と提携し大学生生活協同組合の協同事業の中心として事業活動ならびに各種活動を行って会員事業の発展をはかり会員組合員の生活の経済的文化的向上をはかることを目的として設立されました。
出資金及び総口数	出資金 4,948,510千円 総口数 494,851口
当組合の出資額及び口数	出資金 82,630千円 総口数 8,263口
決算月日	2024年2月29日
主な出資生協	全国大学生生活協同組合連合会 800,000千円
	早稲田大学生生活協同組合 209,810千円
	東京大学消費生活協同組合 187,180千円
	立命館生活協同組合 185,720千円
	慶應義塾生活協同組合 156,560千円
	その他186大学生生活協同組合 3,409,240千円

(2) 事業連合の決算概況

(単位：千円)

資産・負債・純資産の状況		
法 人 名	生活協同組合連合会大学生協事業連合	
科目\決算期	2024年2月29日 (57期)	
資 産 の 部	流 動 資 産	31,420,914
	固定資産	7,252,717
	資産合計	38,673,632
負 債 の 部	流動負債	34,374,245
	固定負債	2,084,336
	負債合計	36,458,581
純 資 産 の 部	出資金	4,948,510
	剰余金	△ 2,733,459
	評価・換算差額等	—
	純資産合計	2,215,050
負債及び純資産合計		38,673,632

(注) 上記貸借対照表は、当事業報告書作成時点では大学生協事業連合は総会の議決を経ていませんので確定しておりませんが、事業連合代表理事から示された決算関係書類に基づいて記載しています

(3) 事業連合の損益状況(決算期：2024年2月29日)

(単位：千円)

損益の状況	
科目\決算期間	2023年3月1日～2024年2月29日
供給高	89,535,100
供給剰余金	1,862,352
事業剰余金	△ 291,601
経常剰余金	△ 156,401
当期剰余金	194,391
当期末処分剰余金	△ 2,733,459

(注) 上記損益計算書は、当事業報告書作成時点では大学生協事業連合は総会の議決を経ていませんので確定しておりませんが、事業連合代表理事から示された決算関係書類に基づいて記載しています

(4) 事業連合との取引等の状況

(単位:円)

区 分	経常収益		経常費用		その他取引		
	供給高	その他	仕入高	その他	収 益	費 用	その他
大学生協事業連合	0	0	1,514,217,538	121,107,406	0	0	0
対取引高率 (%)			94.33				

9. その他組合の組織運営の状況に関する重要な事項

(1) 当組合の内部統制に関する基本方針(2023年10月27日開催 第5回理事会)

神戸大学生協は、組合員と大学の期待に応え、さらなるキャンパスライフの向上を目指すために事業・活動を行います。この前提として、神戸大学生協は「業務の有効性及び効率性」「財務報告の信頼性」「事業活動に関わる法令等の遵守」「資産の保全」の4つの目的を達成するために必要な内部統制の整備に関する基本方針(以下「基本方針」)を次の通り定めます。

1. 理事・委員及び職員の職務の執行が、法令・定款などに適合することを確保します
2. 損失の危険の管理を行います
3. 財務報告を適正に作成します
4. 理事・委員及び職員の職務の執行が効率的に行われるようにします

(2) 2024年度の内部統制行動計画

1. 理事・委員及び職員の職務の執行が、法令・定款などに適合することを確保します
 - ▶理事会・代表理事は、法令や定款の遵守が重要であり、経済的利益に優先することを自覚して、常にこの立場で意思決定・業務執行に当たります。
2. 損失の危険の管理を行います
 - ▶新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類となり、行動制限等が大きく緩和されました。ただ引き続き、感染防止ならびに職員の健康管理を行います。
 - ▶食中毒・個人情報事故を発生させると組合員にも大きな損害が及ぶことを自覚し、理事会で専務理事からこの危機への対処状況の報告を受け確認します。
3. 財務報告を適正に作成します
 - ▶理事会は、当期の損益状況が剰余金あるいは損失金に関わらず、適正な財務報告を作成することが理事会の責務と確認します。
 - ▶専務理事は、損失隠し・不良資産隠しは法令違反であり、組合員への背信行為だと自覚し常に適正な財務報告をまとめ理事会に提案する姿勢を堅持します。
 - ▶専務理事は、在庫・未収金・買掛金・預り金・出資金・固定資産などで実態と帳簿残高の差異が生じやすいことを踏まえ、職員と適切に分担して実態を帳簿残高に表現するように努めます。また、職員に対し少なくとも毎年の決算の前(12-1月)に1回以上、決算書に表現していない不良在庫・未収金等を正しく処理することを指示します。
 - ▶専務理事は、法令に基づきこれらの書類を作成し、理事会に提案します。
4. 理事・委員及び職員の職務の執行が効率的に行われるようにします
 - ▶理事会は、理事会規則に基づき年12回程度開催し、必要な事項を文書または口頭にて簡潔に報告し、理事会で議決すべき事項をもれなく決するほか、そのときどきの状況に応じた重要な事項について時間をとって協議し必要な意思決定を行います。
 - ▶専務理事は、自らの重点や各役職者の分担等が適切か、精選する業務は何か、新しい課題を実行するために適切な配置がされているか、従来専務理事や正規職員が担当してきた業務のうち新たにパートタイマーに担わせる業務は何か等に十分な関心を払い、特に新年度の事業計画を検討する際にこれを文章化して理事会に報告します。
 - ▶専務理事及び各職員は、店舗等での現在の作業方法・分担・作業環境・各作業に要する時間・日々の稼働計画等を当然だと考えず、意思と目標を持って改善をすすめ、経営効率を高め続けます。

- ▶専務理事及び各職員は、「神戸大学職員行動指針」を確認し、それに基づく事業・活動を行うことでより高い成果を上げられることを確信し、努力を重ねるよう努めます。

【神戸大学職員行動指針】

神戸大学生協、並びに生協スタッフはキャンパスコミュニティーの一員です。
以下の3項目を十分に理解し、組合員サービスに努めます。

1. C 4 C (Communication for Cross Function) ⇒ 対話による垣根撤回

スタッフは店舗運営が円滑に行えるように、コミュニケーションを意識し、スタッフ間の意見交換・情報共有を常に行う。

また、店舗・事業部・キャンパスに囚われず、ともにコミュニケーションのネットワークをもって組合員の利便性を向上させる。

2. A & A (Analyze and Act) ⇒ 分析と行動力

スタッフはキャンパスの特徴を捉え、常に組合員の要望を把握することに努める。また、組合員の要望に応えることができるように、収支を考慮しながら創意工夫をもって対応する。

3. f ~ F (The an from The fun) ⇒ 楽しさからファンを

スタッフは組合員が利用し易く、来店することで「ワクワクする」「ホッとする」等が感じられる鮮度のある店舗作りを目指す。組合員の来店頻度の向上、購入点数増等、いっそうの利用の増加につながるように尽力する。



- III その他組合の状況に関する重要な事項
該当する事項はありません。

2023年度 事業報告書の附属明細書

2023年3月1日から2024年2月29日まで

作成 2024年3月27日

兵庫県神戸市灘区六甲台町

備付 2024年5月2日

神戸大学生生活協同組合

理事長 西野 友年

1. 役員報酬等の状況

役員報酬明細

区 分	定款上の定員(人)	支払人数(人)	報酬等支払額	摘 要
理 事	20~25 人	1 名	9,068,268 円	理事報酬の限度額：1,000 万円
監 事	3~5 名	0 名	0 円	
合 計	23~30 人	1 名	9,068,268 円	

2. 役員と他の法人等の業務執行者兼務状況

区 分	常勤・非常勤の別	代表権の有無	氏 名	兼務先名	兼務先での役職名
理 事	常 勤	有	坂本 安弘	株式会社コープリビングサービス	取締役
	”	”	”	神戸親和大学生生活協同組合	専務理事
	”	”	”	兵庫県生活協同組合連合会	理 事
	”	”	”	一般社団法人ひょうご大学生支援機構	”
理 事	非常勤	無	木村 祐一	神戸親和大学生生活協同組合	理 事

3. 組合と役員との間の利益が相反する取引の明細

該当する事項はありません。

4. 事業連合に関する事項

事業連合に対する債権・債務明細表

①債権明細表

(単位:円)

区 分	短期債権			長期債権		
	期首残高	期末残高	当期増減額	期首残高	期末残高	当期増減額
大学生協事業連合	5,890,075	5,057,505	△ 832,570	0	0	0

②債務明細表

(単位:円)

区 分	短期債務			長期債務		
	期首残高	期末残高	当期増減額	期首残高	期末残高	当期増減額
大学生協事業連合	160,390,173	217,883,021	57,492,848	0	0	0

5. その他事業報告書の内容を補足する重要な事項

開示すべき重要な事項はありません。

2023年度 決算関係書類

2023年3月1日から2024年2月29日まで

作成 2024年3月27日
備付 2024年5月2日

兵庫県神戸市灘区六甲台町
神戸大学生生活協同組合
理事長 西野 友年

1. 貸借対照表

貸 借 対 照 表
(2024年2月29日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	659,344,060	流 動 負 債	477,908,733
現 金 預 金	326,941,385	買 掛 金	252,385,169
供 給 未 収 金	95,563,873	未 払 金	12,891,329
商 品 及 び 原 材 料	225,294,599	未 払 法 人 税 等	1,023,000
立 替 金	1,688,358	未 払 消 費 税 等	9,527,400
前 払 費 用	2,516,410	未 払 費 用	6,774,028
未 収 金	8,313,435	前 受 金	94,584,883
貸 倒 引 当 金	△ 974,000	預 り 金	93,638,225
		賞 与 引 当 金	6,753,500
固 定 資 産	131,513,540	ポ イ ン ト 引 当 金	331,199
有 形 固 定 資 産	23,304,085		
建 物 及 び 附 属 設 備	59,163,755	固 定 負 債	53,601,698
減 価 償 却 累 計 額	△ 57,072,103	退 職 給 付 引 当 金	48,357,900
構 築 物	2,935,180	役 員 退 職 給 与 引 当 金	5,243,798
減 価 償 却 累 計 額	△ 2,875,169		
車 両 運 搬 具	15,018,472	負 債 合 計	531,510,431
減 価 償 却 累 計 額	△ 14,997,143		
器 具 備 品	203,977,979	(純 資 産 の 部)	
減 価 償 却 累 計 額	△ 182,846,886	組 合 員 資 本	
無 形 固 定 資 産	4,374,455	出 資 金	377,758,000
ソ フ ト ウ ェ ア	1,387,591	剰 余 金	
電 話 加 入 権	2,986,864	当 期 未 処 理 損 失 金	118,410,831
そ の 他 固 定 資 産	103,835,000	(うち 当 期 剰 余 金)	(1,745,545)
関 係 団 体 等 出 資 金	101,785,000		
差 入 保 証 金	2,050,000	純 資 産 合 計	259,347,169
資 産 合 計	790,857,600	負 債 ・ 純 資 産 合 計	790,857,600

2. 損益計算書

損 益 計 算 書
(自 2023 年 3 月 1 日 至 2024 年 2 月 29 日)

(単位:円)

科 目	金	額
供給事業		
供給高	2,049,592,136	
供給値引	21,032,401	2,028,559,735
供給原価		
期首商品棚卸高	149,743,861	
仕入高	1,605,226,472	
期末商品棚卸高	225,294,599	1,529,675,734
供給総剰余金		498,884,001
その他事業収入		
共済受託手数料収入	23,025,148	
教育文化事業収入	1,019,868	
供給事業手数料収入	2,022,682	
その他手数料収入	130,226,068	156,293,766
事業総剰余金		655,177,767
事業経費		
人件費	412,343,051	
物件費	282,955,225	695,298,276
事業損失金		40,120,509
事業外収益		
受取利息	4,186	
受取配当金	13,000	
雑収入	46,656,989	46,674,175
事業外費用		
支払利息	7,003	
雑損失	3,476,764	3,483,767
経常剰余金		3,069,899
特別利益		
その他特別利益	32,772	32,772
特別損失		
固定資産除却損	330,831	330,831
税引前当期剰余金		2,771,840
法人税等		1,026,295
当期剰余金		1,745,545
当期首繰越損失金		120,156,376
当期末処理損失金		118,410,831

3. 損失処理案

2023 年度損失処理案

(単位：円)

項 目	金 額
I 当期末処理損失金	118,410,831
II 次期繰越損失金	118,410,831

2024 年 5 月 23 日

神戸大学生生活協同組合

注 記

4. 個別注記表

この決算関係書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成されています。

1. 重要な会計方針にかかる事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法は以下のとおりです。

棚卸資産の評価基準及び評価方法

【商品】	書籍・購買	売価還元法による原価法
	食堂(食材)	最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法は以下のとおりです。

①有形固定資産	定率法	主な 耐用 年数	建物	7年～50年
1998年4月1日以後に取得した建物及び 2016年4月1日以後に取得した建物 附属設備・構築物については定額法			建物附属設備	3年～18年
			構築物	5年～14年
			器具備品	2年～20年
			車両運搬具	2年～7年
②無形固定資産	定額法	ソフトウェアは利用期間(5年)に基づく定額法		

(3) 引当金の計上基準は下記の通りです。

①貸倒引当金	債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権は法人税法に定める一括評価金銭債権に係る繰入率による繰入限度相当額、及び貸倒懸念債権については、回収可能性を検討して回収不能見込額を計上しています。
②賞与引当金	職員の賞与の支給に備えるため、支給見込み額の当期負担額を計上しています。
③ポイント引当金	供給促進をはかるために生協電子マネーシステムにて付与したポイントの期末における未使用残高を計上しています。
④退職給付引当金	退職給付会計に関する注記に記載しています。
⑤役員退職給与引当金	役員退職金の支給に備えるため、役員退職金規定による期末要支給額相当額を計上しています。

(4) その他決算関係書類の作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりです。

消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しています。

2. 表示方法の変更に関する注記

未返還出資金の整理益に関して、これまでの特別利益から事業外収入(雑収入)への計上に変更しました。整理益は毎年度末に計上しており、臨時的には発生した利益を計上する特別利益に適さないと考えました。

3. 損益計算書に関する注記

(1) 事業外損益の主な内訳は以下のとおりです。

①事業外収入

(単位:円)

受取利息		4,186	預金利息
受取配当金		13,000	出資配当金等
雑収入	2022年度源泉所得税還付	25,058,024	
	組合員出資金整理益	9,320,000	
	トレイ広告料	5,420,364	
	DM協賛金	3,098,503	
	学生生活110番払込書作成費用	584,975	
	共済加入申込書作成費用補助	469,479	
	共済普及援助金	268,000	
	貸倒引当金戻入益	229,000	
	障害者雇用調整給付金	200,000	
	ICプリペード前受金整理益	160,389	
	パソコン破損補填	119,100	動産保険適用
	段ボール等回収手数料	90,632	
	その他	1,638,523	

②事業外費用

(単位:円)

支払利息		7,003	借入金利息
雑損失	予算外廃材処理費用	1,851,980	
	住まい紹介解決和解金	500,000	
	出資金整理後返還金	366,000	
	商品廃棄ロス	273,164	
	動産保険申込パソコン修理費用負担	131,819	
	パソコン破損補填	114,550	
	消費税精算違算	97,190	
	その他	142,061	

(2) 特別損益の主な内訳は以下のとおりです。

(単位:円)

特別利益	生協支援寄付金	32,772	
特別損失	固定資産除却損	330,831	

(3) 法人税等には、法人税、住民税が含まれています。

4. 退職給付会計に関する注記

(1) 退職給付債務の計上

職員の退職により支給する退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務(簡便法による期末自己都合退職要支給額を採用)及び年金資産の見込額をもとに計算した金額を退職給付引当金として計上しています。

(2) 採用する退職給付制度

正規職員の退職により支給する退職給付にあてるため、退職一時金制度、企業年金基金制度を採用し、定時職員は退職一時金制度のみを採用しています。

(3) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	43,465,102円
退職給付費用	6,586,945円
退職給付の支払額	△ 1,693,148円
年金制度への拠出額	△ 2,660,000円
他生協への移籍支払額	△ 241,666円
他生協からの移籍受入額	2,900,667円
退職給付引当金の期末残高	<u>48,357,900円</u>

(4) 退職給付債務及び年金資産と退職給付引当金の調整表

積立型制度の退職給付債務	82,051,941円
年金資産	△ 33,694,041円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	<u>48,357,900円</u>
退職給付引当金	<u>48,357,900円</u>
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	<u>48,357,900円</u>

(5) 退職給付に関連する損益

簡便法で計算した退職給付費用	6,586,945円
----------------	------------

(6) 企業年金制度について

このほかに、職員については日生協企業年金基金に加入していますが、複数の事業主による総合設立型基金のため退職給付債務等は計上していません。

尚、複数事業主制度に関する事項は以下の通りです。

①制度全体の積立状況に関する事項

年金時価資産額	47,487,833,560円	(2024年2月末日)
数理債務	35,046,656,000円	(2023年3月末日)
差引額	12,441,177,560円	

②制度全体に占める当生協の掛金拠出割合(2023年2月分) 0.08879%

③補足説明

1) 基準日時点の数理債務は年金時価資産額の基準日時点まで増加し、差引額は減少するものと予想されます。

2) 過去勤務債務残高はありません。

3) 2022年度の繰越剰余金は10,034,292,450円です。

内訳は、別途積立金7,282,728,878円と責任準備金のうち、新財政運営基準により積み立てられた実質的な剰余金相当額の累計額は2,751,563,572円の合計額となります。

5. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

金融商品に関する取組方針

当生協では、資金運用は短期的な預金に限定し、資金調達は大学生協事業連合および金融機関借入によっています。生協法第98条に基づき、投機取引は行っていません。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2023年2月28日現在における当生協の貸借対照表計上額と時価の差額があるものはありません。なお、関係会社等株式、関係団体出資金は時価を把握することが極めて困難な市場価格のない株式等です。

6. 関連当事者との取引に関する注記

組合

(単位:円)

種類	法人等の 名 称	資本金または 出 資 金	議決権 割 合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
関連法人	大学生協 事業連合		直接 0.52%	仕入先 役員兼任1 名	商品仕入	1,514,217,538	前渡金	0
					業務委託	52,836,000	買掛金	217,412,938
					経費仕入	52,253,822	未払金	470,083
					NR-G使用料	16,017,584	未収金	5,057,505

2023 年度 決算関係書類の附属明細書

1. 組合員資本の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
組合員出資金	379,144,000	62,985,000	64,371,000	377,758,000	
当期末処分剰余金	△ 120,156,376	1,745,545		△ 118,410,831	
合 計	258,987,624	64,730,545	64,371,000	259,347,169	

2. 借入金の明細

長期借入金等の増減

(単位:円)

借入先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
日本政策金融公庫	30,000,000	0	30,000,000	0
合 計	30,000,000	0	30,000,000	0

(注) 借入金利率は3年間0.52%、3年経過後は1.42%です。但し、3年間の利子補給があります。

3. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:円)

資 産 の 種 類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	減価償却累計額	期末取得原価
建 物	546,934	0	0	196,921	350,013	15,402,432	15,752,445
建物附属設備	1,574,647	390,000	1	223,007	1,741,639	41,669,671	43,411,310
構 築 物	89,360	0	0	29,349	60,011	2,875,169	2,935,180
車 両 運 搬 具	21,329	0	0	0	21,329	14,997,143	15,018,472
器 具 備 品	20,449,458	9,791,353	330,830	8,778,888	21,131,093	182,846,886	203,977,979
有形固定資産計	22,681,728	10,181,353	330,831	9,228,165	23,304,085	257,791,301	281,095,386
ソフトウエア	1,598,286	559,000	0	769,695	1,387,591		
電 話 加 入 権	2,986,864	0	0	0	2,986,864		
無形固定資産計	4,585,150	559,000	0	769,695	4,374,455		
合 計	27,266,878	10,740,353	330,831	9,997,860	27,678,540		

4. 関係団体出資金の明細

(単位:円)

出 資 先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
大学生協事業連合	82,630,000			82,630,000	
全国大学生生活協同組合連合会	15,840,000			15,840,000	
兵庫県生活協同組合連合会	100,000			100,000	
兵庫県の留学生を支える協同基金	1,700,000			1,700,000	
株式会社HATA	15,000			15,000	
コープ共済連	1,000,000			1,000,000	
ひょうご大学生支援機構	500,000			500,000	
合 計	101,785,000	0	0	101,785,000	

5. 引当金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
貸倒引当金	1,203,000		229,000	974,000	
賞与引当金	5,352,800	6,753,500	5,352,800	6,753,500	目的使用
ポイント引当金	77,682	253,517		331,199	
役員退職給与引当金	4,681,402	562,396		5,243,798	

退職給付引当金の明細については2023年度決算関係書類の4.個別注記事項4.退職給付会計に関する注記を参照してください。

6. 事業経費の明細

(単位:円)

科 目	金 額
1. 人件費	
役員報酬	9,068,268
職員給与	80,540,349
定時職員給与	263,506,428
退職給付費用	6,586,945
法定福利費	37,862,218
厚生費	4,716,506
役員退職給与引当金繰入額	562,396
賞与引当金繰入額	6,753,500
派遣人件費	2,746,441
人件費合計	412,343,051
2. 物件費	
教育文化費	1,820,663
広報費	7,593,510
消耗品費	47,509,810
物流費	1,400
車両運搬費	9,739,225
ポイント引当金繰入額	253,517
施設維持管理費	22,887,927
減価償却費	9,997,860
賃借料	3,310,862
水道光熱費	40,814,450
保険料	1,399,470
委託料	47,261,296
研修採用費	4,022,463
調査研究費	121,003
会議費	545,140
諸会費	6,858,451
渉外費	185,022
租税公課	509,400
通信交通費	9,924,073
雑費	15,363,683
事業連合委託費	52,836,000
物件費合計	282,955,225
事業経費合計	695,298,276

7. 事業の種類ごとの損益の明細及び事業別事業経費明細

事業は供給のみのため、事業の種類ごとの損益の明細及び事業別事業経費明細は、損益計算書及び事業経費の明細と同じです。

8. キャッシュ・フロー計算書

間接法

自 2023 年 3 月 1 日 至 2024 年 2 月 29 日

(単位:円)

Ⅰ 事業活動によるキャッシュフロー	
税引前当期剰余金	2,771,840
減価償却費	9,997,860
貸倒引当金の増減額	△ 229,000
賞与引当金の増減額	1,400,700
退職給付引当金の増減額	4,892,798
役員退職給与引当金の増減額	562,396
受取利息および受取配当金	△ 17,186
支払利息	7,003
固定資産除却損	330,831
供給債権の増減額	20,200,867
棚卸資産の増減額	△ 75,550,738
その他流動資産の増減	1,847,469
仕入債務の増減額	67,360,916
未払消費税等の増減額	△ 3,580,900
未払金・未払費用の増減	△ 15,650,200
前受金・預り金等の増減	△ 7,311,544
ポイント引当金の増減	253,517
小 計	7,286,629
利息および配当金等の受取額	17,186
利息の支払額	△ 7,003
法人税等の支払額	△ 1,026,295
事業活動によるキャッシュフロー	6,270,517
Ⅱ 投資活動によるキャッシュフロー	
固定資産の取得による支出	△ 10,740,353
貸付金の回収額	8,800,000
投資活動によるキャッシュフロー	△ 1,940,353
Ⅲ 財務活動によるキャッシュフロー	
長期借入金の減少	△ 30,000,000
組合員出資金の増減額	△ 1,386,000
財務活動によるキャッシュフロー	△ 31,386,000
Ⅳ 現金及び現金同等物の増減額	△ 27,055,836
Ⅴ 現金及び現金同等物期首残高	323,997,221
Ⅵ 現金及び現金同等物期末残高	296,941,385

(注) 現金及び現金同等物の範囲

(単位:円)

項 目	期 首	期 末
現金及び預金	353,997,221	326,941,385
預入期間が3か月を超える定期預金	△ 30,000,000	△ 30,000,000
現金及び現金同等物	323,997,221	296,941,385

9. 主要な事業に関わる資産及び負債の内容その他の決算関係書類の内容を補足する重要な事項

(1) 主な資産の内容

①現金預金の明細

(単位:円)

科目	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
現金預金	現 金	15,925,953	18,461,457	2,535,504
	当 座 預 金	114,635,260	110,413,176	△ 4,222,084
	普 通 預 金	193,436,008	168,066,752	△ 25,369,256
	定 期 預 金	30,000,000	30,000,000	0
合 計		353,997,221	326,941,385	△ 27,055,836

②供給未収金の明細

イ. 内訳

(単位:円)

相手先	金額
供給未収金	67,426,868
クレジット	28,137,005
合 計	95,563,873

ロ. 回収状況

(単位:円)

期首残高	当期発生高	当期回収高	期末残高	回収率
115,764,740	1,593,695,513	1,613,896,380	95,563,873	94.4%

③商品の明細

(単位:円)

科目	内 訳	金 額
商 品	一般商品(物品)	171,256,556
	書 籍	44,313,735
	食 材	3,971,055
	サ ー ビ ス	5,753,253
合 計		225,294,599

④貸付金の明細

(単位:円)

科目	貸 付 先	期首残高	期末残高	当期増減額
短期貸付金	職員1名	8,800,000	0	△ 8,800,000
合 計		8,800,000	0	△ 8,800,000

⑤立替金の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
留学費用	1,687,638
共済解約返戻金	720
合 計	1,688,358

⑥前払費用の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
新学期費用	2,385,957
兵庫県生活協同組合連合会3月会費	30,000
その他	100,453
合 計	2,516,410

⑦未収金の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
大学生協事業連合	5,057,505
神戸大学	1,251,611
自動販売機供給	803,162
就職支援関係	550,000
出向職員給与(神戸親和大学生協)	352,600
青山商事DM発送費用	174,361
マイナビバイト	77,000
ゆうちょ銀行	44,369
図書券・図書カード	2,827
合 計	8,313,435

⑧差入保証金の明細

(単位:円)

差 入 先 (内 訳)	金 額
全国旅行業協会(弁済業務保証金分担金)	600,000
兵庫県宅建協会(弁済業務保証金分担金)	900,000
日本交通公社(トリップス端末)	500,000
日本図書普及(図書券)	20,000
日本図書普及(図書カード端末機)	30,000
合 計	2,050,000

(2) 主な負債の内容

①買掛金の明細

(単位:円)

相 手 先	金 額
大学生協事業連合	217,412,938
神戸大学経済経営研究所	3,559,270
マイクロソフト	515,168
Amazon	430,119
風月堂	327,525
サンアロー	70,774
もりもとや	53,845
トラストマーケティング	52,488
クラシコ	46,728
宮野医療	44,154
その他	29,872,160
合 計	252,385,169

②未払金の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
神戸大学	3,682,194
灘郵便局	1,207,441
大阪ガス	912,275
リコージャパン	418,938
アサヒセキュリティ	347,600
日生協第2年金基金	244,120
三井住友銀行	238,755
ソフトバンクテレコム	224,133
近畿クリーンエイド	173,250
エイジス	130,919
USEN	121,825
アセットインベントリー	99,000
前田商店	93,038
エッソモービル	88,263
東海興商	84,124
その他	4,355,371
合 計	12,421,246

③未払法人税等の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
県民税	143,000
市民税	880,000
合 計	1,023,000

④未払消費税の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
未払消費税	9,527,400
合 計	9,527,400

⑤未払費用の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
職員給与未払費用(2月)	6,517,970
大学生協事業連合	470,083
派遣職員2月給与	256,058
合 計	7,244,111

⑥前受金の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
電子マネー	40,244,943
卒業式レンタル袴申込金	31,576,910
学食定期2024前受金	8,347,000
組合員商品代金等	8,020,000
留学費用	6,205,190
受験宿泊	140,840
新入生歓迎冊子協賛	30,000
その他	20,000
合 計	94,584,883

⑦預り金の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
未返還組合員出資金	73,510,000
新入生出資金等	8,961,190
組合員 (共済掛金)	4,274,470
組合員 (アルバム申込金)	4,184,600
組合員 (学生110番)	1,599,210
組合員 (下宿敷金家賃等)	456,000
大学生協アプリ未使用電子マネー	398,286
生協利用券未使用分	184,260
その他	70,209
合 計	93,638,225

(3) 比較貸借対照表及び比較損益計算書

① 比較貸借対照表

(2024年2月29日現在)

(単位:円)

資産の部	2022年度	2023年度	負債・純資産の部	2022年度	2023年度
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	641,468,494	659,344,060	流動負債	435,436,244	477,908,733
現金預金	353,997,221	326,941,385	買掛金	185,024,253	252,385,169
供給未収金	115,764,740	95,563,873	未払金	16,548,662	12,891,329
商品及び原材料	149,743,861	225,294,599	未払法人税等	1,023,000	1,023,000
立替金	1,423,084	1,688,358	未払消費税等	13,108,300	9,527,400
前払費用	2,164,792	2,516,410	未払費用	18,766,895	6,774,028
短期貸付金	8,800,000	0	前受金	101,775,393	94,584,883
未収金	10,777,796	8,313,435	預り金	93,759,259	93,638,225
貸倒引当金	△ 1,203,000	△ 974,000	賞与引当金	5,352,800	6,753,500
			ポイント引当金	77,682	331,199
固定資産	131,101,878	131,513,540			
有形固定資産	22,681,728	23,304,085	固定負債	78,146,504	53,601,698
建物及び附属設備	59,000,755	59,163,755	長期借入金	30,000,000	0
減価償却累計額	△ 56,879,174	△ 57,072,103	退職給付引当金	43,465,102	48,357,900
	2,121,581	2,091,652	役員退職給与引当金	4,681,402	5,243,798
構築物	2,935,180	2,935,180			
減価償却累計額	△ 2,845,820	△ 2,875,169	負債合計	513,582,748	531,510,431
	89,360	60,011			
車両運搬具	15,018,472	15,018,472	(純資産の部)		
減価償却累計額	△ 14,997,143	△ 14,997,143	組合員資本	379,144,000	377,758,000
	21,329	21,329	出資金	379,144,000	377,758,000
器具備品	222,141,758	203,977,979			
減価償却累計額	△ 201,692,300	△ 182,846,886	剰余金	△ 120,156,376	△ 118,410,831
	20,449,458	21,131,093	当期未処分剰余金	△ 120,156,376	△ 118,410,831
無形固定資産	4,585,150	4,374,455	(うち当期剰余金)	(76,805,703)	(1,745,545)
ソフトウェア	1,598,286	1,387,591			
電話加入権	2,986,864	2,986,864			
その他固定資産	103,835,000	103,835,000			
関係団体等出資金	101,785,000	101,785,000			
差入保証金	2,050,000	2,050,000	純資産合計	258,987,624	259,347,169
資産合計	772,570,372	790,857,600	負債・純資産合計	772,570,372	790,857,600

② 比較損益計算書

(単位:円)

勘定科目	2022年度実績	2023年度予算	2023年度実績	対前年増減額	対予算差異
供給高	1,855,901,231	1,925,106,000	2,049,592,136	193,690,905	124,486,136
供給値引	5,466,283	26,334,000	21,032,401	15,566,118	△ 5,301,599
純供給高	1,850,434,948	1,898,772,000	2,028,559,735	178,124,787	129,787,735
期首商品棚卸高	128,257,515	0	149,743,861	21,486,346	149,743,861
仕入高	1,427,217,729	1,437,117,000	1,605,226,472	178,008,743	168,109,472
期末商品棚卸高	149,743,861	0	225,294,599	75,550,738	225,294,599
供給剰余金	444,703,565	461,655,000	498,884,001	54,180,436	37,229,001
共済受託手数料収入	20,688,641	23,530,000	23,025,148	2,336,507	△ 504,852
教育文化事業収入	602,729	395,000	1,019,868	417,139	624,868
供給事業手数料収入	17,239,707	19,351,000	2,022,682	△ 15,217,025	△ 17,328,318
その他手数料収入	119,334,353	118,372,000	130,226,068	10,891,715	11,854,068
その他事業収入計	157,865,430	161,648,000	156,293,766	△ 1,571,664	△ 5,354,234
事業総剰余金	602,568,995	623,303,000	655,177,767	52,608,772	31,874,767
役員報酬	7,882,168	8,241,000	9,068,268	1,186,100	827,268
職員給与	73,908,074	79,942,000	80,540,349	6,632,275	598,349
定時職員給与	252,434,832	257,872,000	263,506,428	11,071,596	5,634,428
退職給付費用	5,197,767	5,184,000	6,586,945	1,389,178	1,402,945
法定福利費	33,987,144	35,422,000	37,862,218	3,875,074	2,440,218
厚生費	3,305,514	3,720,000	4,716,506	1,410,992	996,506
役員退職給与引当金繰入額	549,505	768,000	562,396	12,891	△ 205,604
賞与引当金繰入額	5,352,800	5,000,000	6,753,500	1,400,700	1,753,500
派遣人件費	2,738,735	2,850,000	2,746,441	7,706	△ 103,559
人件費合計	385,356,539	398,999,000	412,343,051	26,986,512	13,344,051
教育文化費	1,480,057	1,580,000	1,820,663	340,606	240,663
広報費	25,068,891	5,917,000	7,593,510	△ 17,475,381	1,676,510
消耗品費	48,126,353	48,851,000	47,509,810	△ 616,543	△ 1,341,190
物流費		0	1,400	1,400	1,400
車両運搬費	9,158,641	8,611,000	9,739,225	580,584	1,128,225
貸倒引当金繰入	74,000	0	0	△ 74,000	0
ポイント引当金繰入	77,682	0	253,517	175,835	253,517
施設維持管理費	17,755,631	14,643,000	22,887,927	5,132,296	8,244,927
減価償却費	9,799,104	8,256,000	9,997,860	198,756	1,741,860
賃借料	7,105,584	2,527,000	3,310,862	△ 3,794,722	783,862
水道光熱費	44,717,653	46,007,000	40,814,450	△ 3,903,203	△ 5,192,550
保険料	1,195,998	1,686,000	1,399,470	203,472	△ 286,530
委託料	38,192,749	36,652,000	47,261,296	9,068,547	10,609,296
研修採用費	2,215,217	2,356,000	4,022,463	1,807,246	1,666,463
調査研究費	641,540	473,000	121,003	△ 520,537	△ 351,997
会議費	426,529	434,000	545,140	118,611	111,140
諸会費	6,111,114	5,948,000	6,858,451	747,337	910,451
渉外費	109,589	95,000	185,022	75,433	90,022
租税公課	653,050	477,000	509,400	△ 143,650	32,400
通信交通費	13,185,790	13,810,000	9,924,073	△ 3,261,717	△ 3,885,927
雑費	15,337,763	17,405,000	15,363,683	25,920	△ 2,041,317
事業連合委託費	47,808,861	47,809,000	52,836,000	5,027,139	5,027,000
物件費合計	289,241,796	263,537,000	282,955,225	△ 6,286,571	19,418,225
事業経費合計	674,598,335	632,412,000	695,298,276	20,699,941	62,886,276
事業剰余金	△ 72,029,340	△ 38,796,000	△ 40,120,509	31,908,831	△ 1,324,509
受取利息	3,240	2,000	4,186	946	2,186
受取配当金	0	20,000	13,000	13,000	△ 7,000
雑収入	15,919,185	43,259,000	37,336,989	21,417,804	△ 5,922,011
出資金整理益	0	0	9,320,000	9,320,000	9,320,000
事業外収益	15,922,425	43,281,000	46,674,175	30,751,750	3,393,175
支払利息	0	0	7,003	7,003	7,003
雑損	855,304	278,000	3,476,764	2,621,460	3,198,764
事業外費用	855,304	278,000	3,483,767	2,628,463	3,205,767
経常剰余金	△ 56,962,219	3,770,000	3,069,899	60,032,118	△ 700,101
特別利益計	159,977,113	0	32,772	△ 159,944,341	32,772
特別損失計	128,167	0	330,831	202,664	330,831
税引前当期剰余金	102,886,727	3,770,000	2,771,840	△ 100,114,887	△ 998,160
法人税等	26,081,024		1,026,295	△ 25,054,729	1,026,295
当期剰余金	76,805,703		1,745,545	△ 75,060,158	1,745,545
当期首繰越剰余金	△ 196,962,079		△ 120,156,376	76,805,703	△ 120,156,376
当期末処分剰余金	△ 120,156,376		△ 118,410,831	1,745,545	△ 118,410,831

参考資料

店舗別損益対比表

2023年3月1日～2024年2月29日

(単位：千円)

	供給高			供給剰余			事業総剰余			人件費			
	本年実績	前年差	予算差	本年実績	前年差	予算差	本年実績	前年差	予算差	本年実績	前年差	予算差	
ショッピング事業部	国際文化学部	319,687	▲42,635	▲49,734	43,060	▲6,130	▲4,994	45,293	▲6,670	▲4,981	25,670	1,406	789
	医学部	174,440	▲9,044	4,880	20,622	▲2,002	205	25,740	▲2,464	85	18,424	▲561	805
	保健学科	21,644	611	▲924	4,326	99	▲145	4,331	81	▲165	2,563	183	214
	BELBOX	150,831	29,526	▲88,239	29,501	6,323	▲14,467	34,924	7,151	▲14,985	28,638	10,138	2,387
	発達科学部	15,111	47	340	3,287	▲14	▲115	3,318	▲14	▲114	2,196	9	▲81
	キャリア	6,889	1,815	▲1,488	3,445	908	▲743	15,494	▲634	▲250	11,041	530	▲244
	海事科学部	32,874	▲2,279	▲573	4,656	▲625	▲1,083	4,703	▲676	▲1,036	2,677	9	▲101
	サービスセンター	452,202	122,684	130,839	38,977	9,269	9,890	86,380	9,762	10,833	25,191	761	70
	LANSBOX	53,252	7,913	▲1,648	11,221	1,745	284	11,356	1,604	419	10,580	2,652	639
	学生会館	70,315	▲43,344	70,305	16,693	▲10,080	16,693	16,698	▲11,638	16,698	0	▲9,066	0
	附属学校	11,884	2,692	2,144	1,828	348	113	1,828	348	113	1,933	231	173
	店舗支援課	56	56	56	10	9	10	2,767	47	612	20,400	▲5,048	442
	キャンパスPC	186,934	21,887	12,537	28,482	6,862	1,699	54,179	6,557	156	9,219	152	▲289
ショッピング事業部計	1,496,118	89,930	78,495	206,107	6,711	7,346	307,012	3,454	7,386	158,532	1,395	4,804	
総務	総務部	▲16,778	0	0	▲16,781	▲16,272	4,919	35,609	1,890	16,690	66,056	6,505	6,132
事業支援課	0	0	0	0	0	0	2,768	▲15,361	▲17,396	0	0	0	
総務部計	▲16,778	0	0	▲16,781	▲16,272	4,919	38,377	▲13,471	▲706	66,056	6,505	6,132	
フードサービス事業部	国際文化学部	81,945	19,684	6,037	52,210	12,284	3,695	52,223	12,218	3,708	29,240	7,734	▲63
	BELBOX	43,122	11,163	4,364	25,212	7,773	4,019	25,223	7,765	4,030	13,859	2,960	1,172
	さくら	45,049	26,470	23,932	29,277	17,050	14,693	29,277	17,050	14,693	12,952	1,671	2,233
	工学部	183,090	21,086	2,820	95,726	13,266	▲964	95,734	13,255	▲956	45,757	4,825	1,417
	LANSBOX	78,718	12,407	6,093	41,748	7,039	2,164	41,762	7,033	2,178	21,775	2,035	1,595
	滝川会館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発達科学部	16,053	1,081	▲1,252	8,319	759	▲1,138	8,319	759	▲1,138	5,939	19	▲45
	医学部	70,647	7,396	256	39,501	2,937	▲38	39,501	2,937	▲38	22,815	1,968	▲1,433
	保健学科	10,571	1,494	1,052	6,567	997	889	6,567	997	889	5,258	▲62	230
	海事科学部	20,025	2,979	2,690	10,993	1,637	1,639	10,993	1,637	1,639	6,187	166	80
	食堂事務所	0	0	0	0	0	0	187	▲1,024	187	23,974	▲2,230	▲2,777
フードサービス事業部計	549,220	103,761	45,992	309,558	63,741	24,964	309,789	62,626	25,195	187,755	19,087	2,408	
総合計	2,028,560	193,691	124,486	498,884	54,180	37,229	655,178	52,609	31,875	412,343	26,987	13,344	
	物件費			内事業連合 委託費	事業剰余			事業外 損益	経常剰余			当期 剰余金	
	本年実績	前年差	予算差		本年実績	前年差	予算差		本年実績	前年差	予算差		
ショッピング事業部	国際文化学部	5,227	▲3,197	23	0	14,396	▲4,878	▲5,793	4	14,400	▲4,903	▲5,789	14,400
	医学部	6,866	1,382	2,105	0	451	▲3,285	▲2,824	▲945	▲495	▲4,231	▲3,770	▲495
	保健学科	683	▲831	▲27	0	1,085	728	▲352	1	1,086	728	▲351	1,086
	BELBOX	6,298	▲933	▲1,188	0	▲12	▲2,053	▲16,184	41	29	▲2,033	▲16,143	29
	発達科学部	1,631	▲391	▲249	0	▲510	369	215	0	▲510	368	215	▲510
	キャリア	5,898	675	1,178	0	▲1,445	▲1,839	▲1,184	1,814	370	▲1,260	▲519	370
	海事科学部	1,687	▲917	▲3	0	339	232	▲932	2	341	232	▲930	341
	サービスセンター	11,840	▲2,339	65	0	49,350	11,340	10,699	1,596	50,946	11,463	10,915	50,939
	LANSBOX	2,591	▲1,393	▲143	0	▲1,815	345	▲77	21	▲1,794	345	▲56	▲1,794
	学生会館	809	▲5,103	809	0	15,889	2,531	15,889	0	15,889	2,520	15,889	15,889
	附属学校	332	▲552	▲72	0	▲436	668	13	0	▲437	666	12	▲437
	店舗支援課	2,810	720	585	0	▲20,444	4,375	▲416	1	▲20,443	3,621	▲415	▲20,443
	キャンパスPC	3,844	▲4,261	▲2,952	0	41,117	10,666	3,398	▲107	41,010	10,427	3,291	41,010
ショッピング事業部計	50,515	▲17,140	130	0	97,964	19,199	2,451	2,427	100,392	17,944	2,349	100,385	
総務	総務部	120,628	14,874	17,255	52,836	▲151,076	▲19,489	▲6,698	36,198	▲114,877	10,522	▲6,972	▲115,871
事業支援課	13,948	▲897	▲988	0	▲11,180	▲14,464	▲16,408	0	▲11,180	▲14,464	▲16,408	▲11,180	
総務部計	134,576	13,976	16,267	52,836	▲162,255	▲33,952	▲23,105	36,198	▲126,057	▲3,942	▲23,380	▲127,050	
フードサービス事業部	国際文化学部	15,002	▲3,336	▲143	0	7,981	7,820	3,914	▲60	7,920	7,819	3,853	7,920
	BELBOX	8,389	▲1,559	1,032	0	2,974	6,364	1,825	4	2,978	6,367	1,829	2,978
	さくら	5,560	▲1,007	94	0	10,765	16,386	12,366	0	10,765	16,387	12,366	10,765
	工学部	14,452	▲7,454	▲782	0	35,525	15,884	▲1,591	2	35,527	15,944	▲1,589	35,527
	LANSBOX	13,187	26	2,697	0	6,800	4,971	▲2,114	▲1	6,799	4,976	▲2,115	6,799
	滝川会館	804	394	437	0	▲804	▲394	▲437	▲575	▲1,379	▲969	▲1,012	▲1,500
	発達科学部	4,932	400	638	0	▲2,551	339	▲1,730	0	▲2,551	339	▲1,730	▲2,551
	医学部	21,376	9,170	▲1,746	0	▲4,689	▲8,201	3,142	6	▲4,684	▲8,197	3,147	▲4,868
	保健学科	2,777	▲336	79	0	▲1,468	1,395	580	0	▲1,469	1,374	579	▲1,487
	海事科学部	3,605	▲719	▲38	0	1,201	2,189	1,597	▲2	1,199	2,189	1,595	1,199
	食堂事務所	7,781	1,298	754	0	▲31,568	▲93	2,210	5,191	▲26,376	▲199	3,402	▲26,376
フードサービス事業部計	97,864	▲3,123	3,021	0	24,170	46,662	19,766	4,565	28,735	46,030	20,331	28,411	
総合計	282,955	▲6,287	19,418	52,836	▲40,121	31,909	▲888	43,190	3,070	60,032	▲700	1,746	

神戸大学生協 損益比較表

(単位:円)

勘定科目	2022年度実績	2023年度予算	2023年度実績	対前年増減額	対前年増減率	対予算差異	対予算差異率
供給高	1,855,901,231	1,925,106,000	2,049,592,136	193,690,905	10.4	124,486,136	6.4
供給値引	5,466,283	26,334,000	21,032,401	15,566,118	284.7	▲5,301,599	▲20.1
純供給高	1,850,434,948	1,898,772,000	2,028,559,735	178,124,787	9.6	129,787,735	6.8
期首商品棚卸高	128,257,515	0	149,743,861	21,486,346	16.7	149,743,861	
仕入高	1,427,217,729	1,437,117,000	1,605,226,472	178,008,743	12.4	168,109,472	11.6
期末商品棚卸高	149,743,861	0	225,294,599	75,550,738	50.4	225,294,599	
供給剰余金	444,703,565	461,655,000	498,884,001	54,180,436	12.1	37,229,001	8.0
共済受託手数料収入	20,688,641	23,530,000	23,025,148	2,336,507	11.2	▲504,852	▲2.1
教育文化事業収入	602,729	395,000	1,019,868	417,139	69.2	624,868	158.1
供給事業手数料収入	17,239,707	19,351,000	2,022,682	▲15,217,025	▲88.2	▲17,328,318	▲89.5
その他手数料収入	119,334,353	118,372,000	130,226,068	10,891,715	9.1	11,854,068	10.0
その他事業収入計	157,865,430	161,648,000	156,293,766	▲1,571,664	▲0.9	▲5,354,234	▲3.3
事業総剰余金	602,568,995	623,303,000	655,177,767	52,608,772	8.7	31,874,767	5.1
役員報酬	7,882,168	8,241,000	9,068,268	1,186,100	15.0	827,268	10.0
職員給与	73,908,074	79,942,000	80,540,349	6,632,275	8.9	598,349	0.7
定時職員給与	252,434,832	257,872,000	263,506,428	11,071,596	4.3	5,634,428	2.1
退職給付費用	5,197,767	5,184,000	6,586,945	1,389,178	26.7	1,402,945	27.0
法定福利費	33,987,144	35,422,000	37,862,218	3,875,074	11.4	2,440,218	6.8
厚生費	3,305,514	3,720,000	4,716,506	1,410,992	42.6	996,506	26.7
役員退職給与引当金繰入額	549,505	768,000	562,396	12,891	2.3	▲205,604	▲26.7
賞与引当金繰入額	5,352,800	5,000,000	6,753,500	1,400,700	26.1	1,753,500	35.0
派遣人件費	2,738,735	2,850,000	2,746,441	7,706	0.2	▲103,559	▲3.6
人件費合計	385,356,539	398,999,000	412,343,051	26,986,512	7.0	13,344,051	3.3
教育文化費	1,480,057	1,580,000	1,820,663	340,606	23.0	240,663	15.2
広報費	25,068,891	5,917,000	7,593,510	▲17,475,381	▲69.7	1,676,510	28.3
消耗品費	48,126,353	48,851,000	47,509,810	▲616,543	▲1.2	▲1,341,190	▲2.7
物流費	0	0	1,400	1,400		1,400	
車両運搬費	9,158,641	8,611,000	9,739,225	580,584	6.3	1,128,225	13.1
貸倒引当金繰入	74,000	0	0	▲74,000	▲100.0	0	
ポイント引当金繰入	77,682	0	253,517	175,835	226.3	253,517	
施設維持管理費	17,755,631	14,643,000	22,887,927	5,132,296	28.9	8,244,927	56.3
減価償却費	9,799,104	8,256,000	9,997,860	198,756	2.0	1,741,860	21.0
賃借料	7,105,584	2,527,000	3,310,862	▲3,794,722	▲53.4	783,862	31.0
水道光熱費	44,717,653	46,007,000	40,814,450	▲3,903,203	▲8.7	▲5,192,550	▲11.2
保険料	1,195,998	1,686,000	1,399,470	203,472	17.0	▲286,530	▲16.9
委託料	38,192,749	36,652,000	47,261,296	9,068,547	23.7	10,609,296	28.9
研修採用費	2,215,217	2,356,000	4,022,463	1,807,246	81.5	1,666,463	70.7
調査研究費	641,540	473,000	121,003	▲520,537	▲81.1	▲351,997	▲74.4
会議費	426,529	434,000	545,140	118,611	27.8	111,140	25.6
諸会費	6,111,114	5,948,000	6,858,451	747,337	12.2	910,451	15.3
渉外費	109,589	95,000	185,022	75,433	68.8	90,022	94.7
租税公課	653,050	477,000	509,400	▲143,650	▲21.9	32,400	6.7
通信交通費	13,185,790	13,810,000	9,924,073	▲3,261,717	▲24.7	▲3,885,927	▲28.1
雑費	15,337,763	17,405,000	15,363,683	25,920	0.1	▲2,041,317	▲11.7
事業連合委託費	47,808,861	47,809,000	52,836,000	5,027,139	10.5	5,027,000	10.5
物件費合計	289,241,796	263,537,000	282,955,225	▲6,286,571	▲2.1	19,418,225	7.3
事業経費合計	674,598,335	662,536,000	695,298,276	20,699,941	3.0	32,762,276	4.9
事業剰余金	▲72,029,340	▲39,233,000	▲40,120,509	31,908,831	44.2	▲887,509	▲2.2
受取利息	3,240	2,000	4,186	946	29.1	2,186	109.3
受取配当金	0	20,000	13,000	13,000		▲7,000	▲35.0
雑収入	15,919,185	43,259,000	37,336,989	21,417,804	134.5	▲5,922,011	▲13.6
出資金整理益	0	0	9,320,000	9,320,000		9,320,000	
事業外収益	15,922,425	43,281,000	46,674,175	30,751,750	193.1	3,393,175	7.8
支払利息	0	0	7,003	7,003		7,003	
雑損	855,304	278,000	3,476,764	2,621,460	306.4	3,198,764	1,150.6
事業外費用	855,304	278,000	3,483,767	2,628,463	307.3	3,205,767	1,153.1
経常剰余金	▲56,962,219	3,770,000	3,069,899	60,032,118	105.3	▲700,101	▲18.5
特別利益計	159,977,113	0	32,772	▲159,944,341	▲99.9	32,772	
特別損失計	128,167	0	330,831	202,664	158.1	330,831	
税引前当期剰余金	102,886,727	3,770,000	2,771,840	▲100,114,887	▲97.3	▲998,160	▲26.4
法人税等	26,081,024	0	1,026,295	▲25,054,729	▲96.0	1,026,295	
当期剰余金	76,805,703	3,770,000	1,745,545	▲75,060,158	-97.7	▲2,024,455	▲53.6
当期首繰越剰余金	▲196,962,079	0	▲120,156,376	76,805,703	38.9	▲120,156,376	
当期末処分剰余金	▲120,156,376	3,770,000	▲118,410,831	1,745,545	1.4	▲122,180,831	▲3,240.8

事業部門別 損益比較表

【ショップ事業部】

(単位:円)

勘定科目	2022年度実績	2023年度予算	2023年度実績	対前年増減額	対前年増減率	対予算差異	対予算差異率
供給高	1,410,442,150	1,421,878,000	1,500,372,506	89,930,356	6.3	78,494,506	5.5
供給値引	4,956,574	4,634,000	4,254,520	▲702,054	▲14.1	▲379,480	▲8.1
純供給高	1,405,485,576	1,417,244,000	1,496,117,986	90,632,410	6.4	78,873,986	5.5
期首商品棚卸高	125,468,060	0	145,611,248	20,143,188	16.0	145,611,248	
仕入	1,226,231,962	1,218,483,000	1,365,714,724	139,482,762	11.3	147,231,724	12.0
期末商品棚卸高	145,611,248	0	221,315,468	75,704,220	51.9	221,315,468	
供給剰余金	199,396,802	198,761,000	206,107,482	6,710,680	3.3	7,346,482	3.6
共済受託手数料収入	0	0	0	0		0	
教育文化事業収入	0	0	0	0		0	
供給事業手数料収入	1,147,807	651,000	804,649	▲343,158	▲29.8	153,649	23.6
その他手数料収入	103,012,863	100,214,000	100,099,387	▲2,913,476	▲2.8	▲114,613	▲0.1
その他事業収入計	104,160,670	100,865,000	100,904,036	▲3,256,634	▲3.1	39,036	0.0
事業総剰余金	303,557,472	299,626,000	307,011,518	3,454,046	1.1	7,385,518	2.4
役員報酬	0	0	0	0		0	
職員給与	52,880,770	54,137,000	54,559,575	1,678,805	3.1	422,575	0.7
定時職員給与	83,672,288	79,658,000	82,076,069	▲1,596,219	▲1.9	2,418,069	3.0
退職給付費用	0	0	0	0		0	
法定福利費	16,925,067	16,252,000	17,941,300	1,016,233	6.0	1,689,300	10.3
厚生費	920,215	831,000	1,208,549	288,334	31.3	377,549	45.4
役員退職給与引当金繰入額	0	0	0	0		0	
賞与引当金繰入額	0	0	0	0		0	
派遣人件費	2,738,735	2,850,000	2,746,441	7,706	0.2	▲103,559	▲3.6
人件費合計	157,137,075	153,728,000	158,531,934	1,394,859	0.8	4,803,934	3.1
教育文化費	0	0	0	0		0	
広報費	5,171,534	3,898,000	4,701,569	▲469,965	▲9.0	803,569	20.6
消耗品費	7,980,792	9,470,000	10,358,829	2,378,037	29.7	888,829	9.3
物流費	0	0	1,400	1,400		1,400	
車両運搬費	7,109,768	6,835,000	6,959,231	▲150,537	▲2.1	124,231	1.8
貸倒引当金繰入	0	0	0	0		0	
ポイント引当金繰入	0	0	0	0		0	
施設維持管理費	3,273,138	2,624,000	2,990,090	▲283,048	▲8.6	366,090	13.9
減価償却費	2,905,815	3,108,000	2,980,809	74,994	2.5	▲127,191	▲4.0
賃借料	1,712,650	1,724,000	1,842,873	130,223	7.6	118,873	6.8
水道光熱費	6,795,487	6,886,000	6,390,158	▲405,329	▲5.9	▲495,842	▲7.2
保険料	569,360	374,000	▲580	▲569,940	▲100.1	▲374,580	▲100.1
委託料	14,448,434	7,860,000	7,467,491	▲6,980,943	▲48.3	▲392,509	▲4.9
研修採用費	83,653	385,000	460,520	376,867	450.5	75,520	19.6
調査研究費	187,965	15,000	80,593	▲107,372	▲57.1	65,593	437.2
会議費	88,184	90,000	144,642	56,458	64.0	54,642	60.7
諸会費	313,566	0	309,316	▲4,250	▲1.3	309,316	
渉外費	1,262	0	1,964	702	55.6	1,964	
租税公課	70,600	2,000	12,800	▲57,800	▲81.8	10,800	540.0
通信交通費	6,074,520	6,114,000	4,924,753	▲1,149,767	▲18.9	▲1,189,247	▲19.4
雑費	452,565	1,000,000	888,637	436,072	96.3	▲111,363	▲11.1
事業連合委託費	10,416,000	0	0	▲10,416,000	▲100.0	0	
物件費合計	67,655,293	50,385,000	50,515,095	▲17,140,198	▲25.3	130,095	0.2
事業経費合計	224,792,368	204,113,000	209,047,029	▲15,745,339	▲7.0	4,934,029	2.4
事業剰余金	78,765,104	95,513,000	97,964,489	19,199,385	24.3	2,451,489	2.5
受取利息	0	0	0	0		0	
受取配当金	0	0	0	0		0	
雑収入	3,794,295	2,530,000	3,773,016	▲21,279	▲0.5	1,243,016	49.1
出資金整理益	0	0	0	0		0	
事業外収益	3,794,295	2,530,000	3,773,016	▲21,279	▲0.5	1,243,016	49.1
支払利息	0	0	0	0		0	
雑損	111,821	0	1,345,819	1,233,998	1,103.5	1,345,819	
事業外費用	111,821	0	1,345,819	1,233,998	1,103.5	1,345,819	
経常剰余金	82,447,578	98,043,000	100,391,686	17,944,108	21.7	2,348,686	2.3
特別利益計	0	0	0	0		0	
特別損失計	149,464	0	6,840	▲142,624	▲95.4	6,840	
税引前当期剰余金	82,298,114	98,043,000	100,384,846	18,086,732	21.9	2,341,846	2.3

【フードサービス事業部】

(単位:円)

勘定科目	2022年度実績	2023年度予算	2023年度実績	対前年増減額	対前年増減率	対予算差異	対予算差異率
供給高	445,459,081	503,228,000	549,219,630	103,760,549	23.2	45,991,630	9.1
供給値引	0	0	0	0		0	
純供給高	445,459,081	503,228,000	549,219,630	103,760,549	23.2	45,991,630	9.1
期首商品棚卸高	2,789,455	0	4,132,613	1,343,158	48.1	4,132,613	
仕入高	200,985,767	218,634,000	239,508,258	38,522,491	19.1	20,874,258	9.5
期末商品棚卸高	4,132,613	0	3,979,131	▲153,482	▲3.7	3,979,131	
供給剰余金	245,816,472	284,594,000	309,557,890	63,741,418	25.9	24,963,890	8.7
共済受託手数料収入	0	0	0	0		0	
教育文化事業収入	0	0	0	0		0	
供給事業手数料収入	0	0	0	0		0	
その他手数料収入	1,346,910	0	231,324	▲1,115,586	▲82.8	231,324	
その他事業収入計	1,346,910	0	231,324	▲1,115,586	▲82.8	231,324	
事業総剰余金	247,163,382	284,594,000	309,789,214	62,625,832	25.3	25,195,214	8.8
役員報酬	0	0	0	0		0	
職員給与	14,262,213	21,197,000	22,079,052	7,816,839	54.8	882,052	4.1
定時職員給与	142,490,842	149,946,000	151,859,602	9,368,760	6.5	1,913,602	1.2
退職給付費用	0	0	0	0		0	
法定福利費	9,856,723	11,709,000	11,419,480	1,562,757	15.8	▲289,520	▲2.4
厚生費	2,058,332	2,495,000	2,396,737	338,405	16.4	▲98,263	▲3.9
役員退職給与引当金繰入額	0	0	0	0		0	
賞与引当金繰入額	0	0	0	0		0	
派遣人件費	0	0	0	0		0	
人件費合計	168,668,110	185,347,000	187,754,871	19,086,761	11.3	2,407,871	1.2
教育文化費	0	0	0	0		0	
広報費	293,025	305,000	249,100	▲43,925	▲14.9	▲55,900	▲18.3
消耗品費	19,795,665	33,118,000	31,874,942	12,079,277	61.0	▲1,243,058	▲3.7
物流費	0	0	0	0		0	
車両運搬費	1,041,274	1,048,000	1,334,402	293,128	28.1	286,402	27.3
貸倒引当金繰入	0	0	0	0		0	
ポイント引当金繰入	0	0	0	0		0	
施設維持管理費	12,828,986	11,821,000	17,653,247	4,824,261	37.6	5,832,247	49.3
減価償却費	5,906,346	4,572,000	6,431,704	525,358	8.8	1,859,704	40.6
賃借料	82,800	11,000	50,523	▲32,277	▲38.9	39,523	359.3
水道光熱費	36,807,209	38,257,000	33,370,501	▲3,436,708	▲9.3	▲4,886,499	▲12.7
保険料	346,930	96,000	0	▲346,930	▲100.0	▲96,000	▲100.0
委託料	9,090,945	3,025,000	3,681,401	▲5,409,544	▲59.5	656,401	21.6
研修採用費	1,621,505	1,784,000	2,269,170	647,665	39.9	485,170	27.1
調査研究費	1,552	0	5,490	3,938	253.7	5,490	
会議費	29,202	41,000	85,946	56,744	194.3	44,946	109.6
諸会費	0	0	0	0		0	
渉外費	0	0	0	0		0	
租税公課	2,400	0	4,400	2,000	83.3	4,400	
通信交通費	753,111	765,000	853,104	99,993	13.2	88,104	11.5
雑費	37,600	0	0	▲37,600	▲100.0	0	
事業連合委託費	12,348,000	0	0	▲12,348,000	▲100.0	0	
物件費合計	100,986,550	94,843,000	97,863,930	▲3,122,620	▲3.0	3,020,930	3.1
事業経費合計	269,654,660	280,190,000	285,618,801	15,964,141	5.9	5,428,801	1.9
事業剰余金	▲22,491,278	4,404,000	24,170,413	46,661,691	207.4	19,766,413	448.8
受取利息	0	0	0	0		0	
受取配当金	0	0	0	0		0	
雑収入	5,373,383	4,000,000	5,446,752	73,369	1.3	1,446,752	36.1
出資金整理益	0	0	0	0		0	
事業外収益	5,373,383	4,000,000	5,446,752	73,369	1.3	1,446,752	36.1
雑損失	176,887	0	882,028	705,141	398.6	882,028	
事業外費用	176,887	0	882,028	705,141	398.6	882,028	
経常剰余金	▲17,294,782	8,404,000	28,735,137	46,029,919	266.1	20,331,137	241.9
特別利益計	0	0	0	0		0	
特別損失計	18,701	0	323,991	305,290	1,632.4	323,991	
税引前当期剰余金	▲17,313,483	8,404,000	28,411,146	45,724,629	264.0	20,007,146	238.0

【総務部】

(単位:円)

勘定科目	2022年度実績	2023年度予算	2023年度実績	対前年増減額	対前年増減率	対予算差異	対予算差異率
供給高	0	0	0	0		0	
供給値引	509,709	21,700,000	16,777,881	16,268,172	3191.6	▲4,922,119	▲22.6
純供給高	▲509,709	▲21,700,000	▲16,777,881	▲16,268,172	▲3,191.6	4,922,119	22.6
期首商品棚卸高	0	0	0	0		0	
仕入高	0	0	3,490	3,490		3,490	
期末商品棚卸高	0	0	0	0		0	
供給剰余金	▲509,709	▲21,700,000	▲16,781,371	▲16,271,662	▲3,192.3	4,918,629	22.6
共済受託手数料収入	20,688,641	23,530,000	23,025,148	2,336,507	11.2	▲504,852	▲2.1
教育文化事業収入	602,729	395,000	1,019,868	417,139	69.2	624,868	158.1
供給事業手数料収入	16,091,900	18,700,000	1,218,033	▲14,873,867	▲92.4	▲17,481,967	▲93.4
その他手数料収入	14,974,580	18,158,000	29,895,357	14,920,777	99.6	11,737,357	64.6
その他事業収入計	52,357,850	60,783,000	55,158,406	2,800,556	5.3	▲5,624,594	▲9.2
事業総剰余金	51,848,141	39,083,000	38,377,035	▲13,471,106	▲25.9	▲705,965	▲1.8
役員報酬	7,882,168	8,241,000	9,068,268	1,186,100	15.0	827,268	10.0
職員給与	6,765,091	4,608,000	3,901,722	▲2,863,369	▲42.3	▲706,278	▲15.3
定時職員給与	26,271,702	28,268,000	29,570,757	3,299,055	12.5	1,302,757	4.6
退職給付費用	5,197,767	5,184,000	6,586,945	1,389,178	26.7	1,402,945	27.0
法定福利費	7,205,354	7,461,000	8,501,438	1,296,084	17.9	1,040,438	13.9
厚生費	326,967	394,000	1,111,220	784,253	239.8	717,220	182.0
役員退職給与引当金繰入額	549,505	768,000	562,396	12,891	2.3	▲205,604	▲26.7
賞与引当金繰入額	5,352,800	5,000,000	6,753,500	1,400,700	26.1	1,753,500	35.0
派遣人件費	0	0	0	0		0	
人件費合計	59,551,354	59,924,000	66,056,246	6,504,892	10.9	6,132,246	10.2
教育文化費	1,480,057	1,580,000	1,820,663	340,606	23.0	240,663	15.2
広報費	19,604,332	1,714,000	2,642,841	▲16,961,491	▲86.5	928,841	54.1
消耗品費	20,349,896	6,263,000	5,276,039	▲15,073,857	▲74.0	▲986,961	▲15.7
物流費	0	0	0	0		0	
車両運搬費	1,007,599	728,000	1,445,592	437,993	43.4	717,592	98.5
貸倒引当金繰入	74,000	0	0	▲74,000	▲100.0	0	
ポイント引当金繰入	77,682	0	253,517	175,835	226.3	253,517	
施設維持管理費	1,653,507	198,000	2,244,590	591,083	35.7	2,046,590	1,033.6
減価償却費	986,943	576,000	585,347	▲401,596	▲40.6	9,347	1.6
賃借料	5,310,134	792,000	1,417,466	▲3,892,668	▲73.3	625,466	78.9
水道光熱費	1,114,957	864,000	1,053,791	▲61,166	▲5.4	189,791	21.9
保険料	279,708	1,216,000	1,400,050	1,120,342	400.5	184,050	15.1
委託料	14,653,370	25,767,000	36,112,404	21,459,034	146.4	10,345,404	40.1
研修採用費	510,059	187,000	1,292,773	782,714	153.4	1,105,773	591.3
調査研究費	452,023	458,000	34,920	▲417,103	▲92.2	▲423,080	▲92.3
会議費	309,143	303,000	314,552	5,409	1.7	11,552	3.8
諸会費	5,797,548	5,948,000	6,549,135	751,587	12.9	601,135	10.1
渉外費	108,327	95,000	183,058	74,731	68.9	88,058	92.6
租税公課	580,050	475,000	492,200	▲87,850	▲15.1	17,200	3.6
通信交通費	6,358,159	6,931,000	4,146,216	▲2,211,943	▲34.7	▲2,784,784	▲40.1
雑費	14,847,598	16,405,000	14,475,046	▲372,552	▲2.5	▲1,929,954	▲11.7
事業連合委託費	25,044,861	47,809,000	52,836,000	27,791,139	110.9	5,027,000	10.5
物件費合計	120,599,953	118,309,000	134,576,200	13,976,247	11.5	16,267,200	13.7
事業経費合計	180,151,307	178,233,000	200,632,446	20,481,139	11.3	22,399,446	12.5
事業剰余金	▲128,303,166	▲139,150,000	▲162,255,411	▲33,952,245	▲26.4	▲23,105,411	▲16.6
受取利息	3,240	2,000	4,186	946	29.1	2,186	109.3
受取配当金	0	20,000	13,000	13,000		▲7,000	▲35.0
雑収入	6,751,507	36,729,000	28,117,221	21,365,714	316.4	▲8,611,779	▲23.4
出資金整理益	0	0	9,320,000	9,320,000		9,320,000	
事業外収益	6,754,747	36,751,000	37,454,407	30,699,660	454.4	703,407	1.9
雑損失	0	0	7,003	7,003		7,003	
事業外費用	566,596	278,000	1,248,917	682,321	120.4	970,917	349.2
経常剰余金	▲122,115,015	▲102,677,000	▲126,056,924	▲3,941,909	▲3.2	▲23,379,924	▲22.7
特別利益計	159,977,113	0	32,772	▲159,944,341	▲99.9	32,772	
特別損失計	▲39,998	0	0	39,998	100.0	0	
税引前当期剰余金	37,902,096	▲102,677,000	▲126,024,152	▲163,926,248	▲432.4	▲23,347,152	▲22.7

沿 革

年 月	内 容
1957年 6月	設立総会
7月	県知事認可
12月	設立登記
1958年 5月	姫路支部発足
1958年 9月	六甲支部焼失
10月	書籍部御影に開設
1960年 12月	六甲支部再建
1962年 11月	工学支部発足
1963年 4月	教養部鶴甲に移転
1994年 9月	教養部本食堂完成 文理学部食堂完成 学舎統合により御影支部 学舎統合により姫路支部廃止
10月	学生会館に書籍部統合移転
1966年 9月	農学部支部開設
1967年 10月	医学部支部開設
1969年 12月	工学部にカフェテリア食堂開設
1973年 4月	医学部食堂改装
1976年 9月	六甲支部二階化(一階食堂、二階喫茶・購買書籍)
1977年 2月	農学部食堂拡張
1979年 3月	文理学部食堂廃止
8月	教養部食堂拡張
1980年 4月	教育学部購買部拡張
1982年 10月	工学部喫茶(エコー)開設 兵庫県知事登録国内旅行業登録
1984年 2月	運輸大臣登録一般旅行業代理店登録
3月	医療技術短期大学部施設開設
4月	医学部書籍・購買部が国内旅行業営業所として登録
1985年 1月	LANS BOX(文・理・農・自然科学研究科施設)開設
4月	CAFELIA(教養部喫茶)改装
1986年 4月	宅地建物取引業登録
5月	自動車運送取扱業登録
1988年 1月	員外利用許可(神戸大学の校費)
4月	MEDICO ATRIUM(医学部施設)開設
8月	LOFT 学生会館書籍部に移転
1992年 1月	滝川記念学会館食堂(教職員用施設)運営受託
1993年 1月	両替業務の開始認可(平成10年4月法改訂に伴い廃止)
1994年 8月	員外利用許可(神戸大学の来訪者)
9月	国際文化学部食堂リニューアル
1995年 1月	阪神・淡路大震災で被災
1996年 4月	旅行業法の改定に伴い、運輸大臣登録一般旅行業代理店登録を廃業し、旅行業第3種登録(海外旅行・国内旅行の手配)

1997年	6月	国際文化学部購買リニューアル及び LOFT の移転
1998年	5月	三木記念会館食堂(教職員用施設)運営受託
1999年	6月	宅地建物取引業で医学部店を支店として登録
2000年	5月	工学部喫茶室(エコール)屋外テラス拡張(48席)
	6月	定款変更の兵庫県知事認可(名称変更、出資一口金額の変更等) 神戸大学生協同組合に名称変更
	7月	学生会館食堂廃止、隣接する書籍部拡張(約 80 坪)
2001年	8月	工学部購買店拡張(約 3 坪)
2002年	11月	六甲台食堂・喫茶・書籍購買店、新施設移設準備に伴い閉店(仮店舗営業)
2003年	1月	六甲台新施設(アカデミア館)食堂・レストラン・ショップ営業開始
	10月	神戸大学と神戸商船大学の統合に伴い、海事科学部食堂・ショップ営業開始
2004年	4月	国立大学法人神戸大学と協定書・業務委託契約書を締結し、神戸大学における福利厚生事業全般を受託
	8月	国際文化学部店、カフェリア、パンショップ改装
	8月	工学部店リニューアル
	9月	LANS BOX 店リニューアル
2006年	2月	工学部食堂リニューアル
	6月	員外利用許可(酒類販売事業)
	9月	LANS BOX 店リニューアル 国際文化学部店・BELBOX ショップ酒類販売業登録
2007年	2月	工学部喫茶エコール閉店
	3月	発達科学部店移設・発達科学部食堂ホール改装
	8月	国際文化学部店改装
	12月	国際文化学部食堂・発達科学部食堂厨房改装に伴い閉店 学生会館店全面改装 サービスセンター改装に伴い移転
2008年	3月	国際文化学部店舗内ゆうちょ銀行 ATM 稼働開始
	4月	国際文化学部食堂・サービスセンター・発達科学部食堂営業開始
	8月	国際文化学部店改装
	12月	国際文化学部食堂・カフェリアパンショップ・発達科学部食堂・学生会館店改装
2009年	4月	総務部(組合員サポートデスク)改装
	8月	BELBOX ショップ店舗内ゆうちょ銀行 ATM 稼働開始
2010年	3月	基幹システム・店舗システム変更(大学生協システム)
	8月	医学部店改装
	12月	保健学科店改装
2011年	2月	LANSBOX 店改装
	6月	大学生協共済連加入
	8月	大学生協神戸事業連合と大学生協大阪事業連合が併合し、大学生協阪神事業連合となる
	10月	全店舗にて煙草の取扱いを中止
2012年	3月	日本生活協同組合連合会脱退
	4月	神戸大学附属図書館学内書籍等運搬業務請負
	6月	平成 24 年度神戸大学英語外部試験(TOEIC-IP・TOEFL-ITP)実施請負
	9月	LANSBOX 店改装
	12月	瀧川記念会館喫茶コーナー業務委託

		パートタイマー・エルダースタッフ就業規則改定
2013年	1月	神戸大学職員対象英語外部試験(TOEIC-IP)実施請負
	3月	平成25年度神戸大学英語外部試験(TOEIC-IP・TOEFL-ITP)実施請負
	7月	Microsoft ソフトウェアライセンスメディアインストールキット販売開始
	9月	総務部改装
	10月	神戸大学職員対象英語外部試験(TOEIC-IP)実施請負
2014年	2月	神戸大学附属図書館学内書籍等運搬業務請負
	3月	平成26年度神戸大学英語外部試験(TOEIC-IP・TOEFL-ITP)実施請負
	8月	工学部食堂・ショップ耐震工事に伴い一時閉店 神戸大学職員対象英語外部試験(TOEIC-IP)実施請負
	10月	臨時総代会 神戸大学附属中等教育学校への店舗開設承認
2015年	1月	工学部食堂・ショップ営業再開
	3月	平成27年度神戸大学英語外部試験(TOEIC-IP・TOEFL-ITP)実施請負
	4月	附属中等教育学校店営業開始
	8月	全学ソフトウェアライセンスサポート業務請負
	10月	入学試験合格者書類発送委託契約締結(生協資料同封発送)
	11月	学生総合共済全店舗受付業務開始
2016年	2月	神戸大学附属図書館学内書籍等運搬業務請負
	3月	カフェリア・パンショップ業態変更に伴う改装 平成28年度神戸大学英語外部試験(TOEIC-IP・TOEFL-ITP)実施請負
	9月	LANSBOX 食堂厨房内ケータリング調理エリア設置 大学生協関西北陸事業連合設立(阪神・京都・北陸の3事業連合合併)
	10月	LANSBOX 食堂2階留学生食事対応開始(食堂名:LANS Vege Dining) 国際文化学部食堂新レーン増設(Wレーン化)
2017年	2月	神戸大学附属図書館学内書籍等運搬業務請負 楠地区を除く自動販売機設置及び管理に関する入札参加
	3月	楠地区を除く自動販売機設置及び管理に関する業務受託 平成29年度神戸大学英語外部試験(TOEIC-IP・TOEFL-ITP)実施請負
	7月	学内可燃ゴミ回収業務受託
	9月	正規職員就労条件を関西北陸事業連合同一化に伴う就業規則変更
2018年	2月	PiTaPa カード利用終了 生協 IC カード募集開始
	3月	平成30年度神戸大学英語外部試験(TOEIC L&R IP・TOEFL-ITP)実施請負 英語外部試験受験料一部支援制度申請受付業務 神戸大学 PC 必携化ワーキングオブザーバー参加(3月までの全10回に参加)
	6月	役員報酬規則・役員の報酬及び退任慰労金支給基準に関する細則を関西北陸事業連合と同一化 アカデミア館2階(BELBOX ショップ [®] 内)ゆうちょ銀行 ATM 撤去
	8月	大学生協事業連合設立(北海道・東北・東京・東海・関西北陸・九州の6事業連合合併)
	11月	学食定期募集開始
2019年	2月	バイク取扱(販売・修理等)終了
	3月	平成30年度神戸大学英語外部試験(TOEIC L&R IP・TOEFL-ITP)実施請負
	4月	自賠責保険取扱終了
	9月	神戸親和女子大学生協との「相互協力に関する協定書」を締結
	10月	「キャッシュレス・消費者還元事業主」認可

2020年	4月	<p>正規職員定年後再雇用新制度の導入</p> <p>レジ袋有料化</p> <p>緊急事態宣言発出(4月7日から5月21日)ならびに入講禁止(4月7日から5月6日)に伴い全店臨時休業</p> <p>学生会館店にて教科書のオンライン販売を開始</p>	
	5月	<p>5月7日より遠隔授業により開始</p> <p>LANSBOX 店を時間短縮ならびに限られた商品販売にて営業再開</p>	
	6月	<p>国際文化学部店・医学部店・学生会館店・サービスセンター・組合員サポートデスクを、電話・FAX・メール等の対面以外による対応にて営業再開(短縮営業)</p> <p>レストランさくらにて配達弁当開始</p> <p>工学部食堂・LANSBOX 食堂・医学部食堂・医学部店を時間短縮にて営業再開</p> <p>「新型コロナウイルス感染症対応 基本方針」を策定</p>	
	8月	<p>名谷キャンパスA棟改修(保健学科食堂・保健学科店も改修対象のため閉店)</p> <p>工学研究院試に伴う英語外部試験実施請負</p> <p>工学部店(てくてく)を手作り弁当テイクアウトコーナーに業態変更</p>	
	10月	<p>国際文化学部店・サービスセンター・組合員サポートデスクを時間短縮にて対面での営業再開</p> <p>海事科学部食堂を時間短縮にて営業再開</p> <p>名谷キャンパスF棟1階フロアにて手作り弁当の販売開始</p> <p>国際文化学部食堂を時間短縮にて営業再開</p>	
	11月	<p>海事科学部店を時間短縮ならびに週2回にて営業再開</p>	
	12月	<p>名谷キャンパスF棟1階フロアにて手作り弁当の販売終了</p>	
	2021年	1月	<p>国際文化学部食堂臨時閉店</p>
		2月	<p>学生会館店の業態変更(教科書販売専門店に変更)</p>
		3月	<p>書籍値引制度終了(生協ICカード決済におけるポイント付与に変更)</p> <p>令和3年入学者より生協加入時に生協ICカード発行へ切替</p> <p>令和3年度神戸大学英語外部試験(TOEIC L&R IP・TOEFL-ITP)実施請負</p>
4月		<p>LANS HALAL Vege Dining 以外の営業を時間短縮にて再開</p> <p>保健学科食堂・保健学科店の営業再開</p>	
7月		<p>深江キャンパス学生会館改修に伴い海事科学部食堂・ショップ閉店</p> <p>タツミラウンジにて手作り弁当ならびに教科書販売開始(7月・10月)</p>	
11月		<p>海事科学部食堂・海事科学部店の営業再開</p> <p>学生総合共済の大学生協共済連とコープ共済連による共同引受開始</p> <p>コロナ禍に於けるケータリング利用ルールを策定</p>	
2022年		2月	<p>食堂でのTuoカード利用決済終了</p>
	3月	<p>神戸大学・タイガー魔法瓶(株)と3者にてSDGs推進の共同活動契約を締結</p> <p>令和4年度神戸大学英語外部試験(TOEIC L&R IP・TOEFL-ITP)実施請負</p> <p>楠地区を除く自動販売機設置及び管理に関する入札参加</p>	
	4月	<p>楠地区を除く自動販売機設置及び管理に関する業務受託</p>	
	6月	<p>瀧川記念会館食堂ならびにLANS HALAL Vege Diningを除き全店舗営業</p>	
	8月	<p>学生総合共済以外のコープ共済保険商品取り扱い開始</p> <p>学生会館店閉店(BELBOX ショップへ事業統合)</p> <p>プラスチック製カトラリー・ストロー有料化</p>	
	9月	<p>大学生協共済連解散(コープ共済連へ全共済事業を譲渡)</p> <p>神戸大学と食堂利用データの提供に関する共同研究契約を締結</p>	

	10月	コープ共済連にて学生総合共済を含む全共済事業の取り扱い開始
	11月	医学部店酒類販売業登録
	12月	LANSBOX 店酒類販売業登録
2023年	1月	新レジシステム(ユビレジ)運用開始
		大学生協アプリでの決済利用開始
	6月	医学部店・医学部食堂新福利厚生施設移転
		LANS HALAL Vege Dining 営業再開
	9月	瀧川記念会館食堂閉店(大学へ施設を返還)
10月	CO・OP 火災共済ならびにマイカー共済の取り扱い開始	
	BELBOX カフェテリア夕食営業開始	

なお、本議案の官庁等への届け出等については、本通常総代会の議決の趣旨に反しない範囲内で字句の修正等をさせていただくことを理事会に一任願います。

監査報告書

私たち監事は、2023年3月1日から2024年2月29日までの2023年度の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、他の監事と意思疎通及び情報の交換を図るほか、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報収集及び監査の環境の整備に努めました。各監事は、理事会に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本部において業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類（貸借対照表、損益計算書、損失処理案）及びその附属明細書について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

- 一、事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 決算関係書類及びその附属明細書の監査結果

決算関係書類及びその附属明細書は、組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。


(3) 損失処理案監査結果


損失処理案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

2024年4月26日

神戸大学生生活協同組合

監事 大谷 恭弘 

監事 小紫 裕正 

監事 上根 大輔 

監事意見書

2023年度の事業・活動に関して、監事会より以下の意見書を提出します。

大きく規制や制限が緩和される中、当生協の利用も大きく増えましたが、2019年度以前の利用状況には届いていません。また、大学校費利用の減少もあり厳しい経営環境であると考えます。

- ・引く続き経営再建への取り組み、組合員の学生生活がより良くなるように尽力頂きたい。
- ・大学校費利用に頼らない経営体質への移行が必要と考えます。
- ・それには日々の店舗利用人数を増加させる工夫が必要であり、新たな事業モデル等の検討を願います。
- ・学生理事の発言が少なくなりがちと感じます。学生理事が発言し易い工夫や意見を集約する場等の設定を検討ください。
- ・代表理事の代行手順に関し、第1回理事会にて代行順位は議決されています。ただ、不測の事態が発生した場合や、交代せざるを得ない事象が発生した場合、どのように進めるのかを確認も含め整理した方が良いと考えます。
- ・大学生協事業連合の経営再建への取り組みや委託している業務に関し、これまで以上に進捗状況ならびに適切な処理がされているかを注視しなければならないと考えます。
- ・4月12日・15日・16日の昼食時間における大学生協アプリの障害にて、多くの組合員に対して大きな影響が発生しました。原因の究明ならびに対策を早急に行い、安心して利用できる環境の構築を必要です。システムの開発・運用を委託している大学生協事業連合へ、改善に向けて強く要請頂きたい。
- ・国際文化学部と発達科学部は、国際人間科学部へと改組されてからかなりの時間が経過しました。そのため、ほとんどの学生が旧学部名を知らないと考えられ、両キャンパスの食堂・購買店の名称（店舗名）を変更するべきではと考えます。

2024年4月26日

監事 大谷 恭弘

監事 小紫 裕正

監事 上根 大輔

第2号議案 2024年度事業計画および予算決定の件

※第2号議案は2024年度に行う活動や改善、事業計画を報告します。

第2号議案－1 2024年度活動計画

2023年度活動方針【「通学＝生協利用」の強化】【コロナを言い訳としない事業・活動の構築】

【新システムへの対応】【原点回帰】の4点を継続して取り組み、あらたに以下の3点を2024年度の活動方針として、事業・活動の高次化に取り組みます。

【新たなフォームによる剰余の確保】

各キャンパスの利用動向、滞留時間に柔軟に対応できるように、新たな営業フォームを構築し剰余が残せる運営を目指します。安易な営業時間の変更（短縮ならびに延長）ではなく、分析による明確な目的・目標にて事業活動に取り組みます。

【人員体制の構築】

最低賃金の改定ならびに社会保険適用枠拡大、そして営業時間の延長（開店時間を早くするや閉店時間を遅くする、夕食対応の営業、そして土曜日営業等へのチャレンジ）にて人件費の増加が考えられます。多岐に渡る要因にて人件費が増加することを安易に受け入れるのではなく（致し方ないからではなく）、組合員の要望に応えかつ収支の均衡を図ることができるのかを真摯に検討します。さらなるローコストオペレーションの重要を認識し、縮小均衡から脱却するための第1歩として店舗運営に取り組みます。

【付加価値の探求】

価格改定等を行わざるを得ない中、価格以上の価値を組合員に感じて頂くことが重要となり、これまでの付加価値では学外との優位性が保てなくなっています。大きな要因としては、各企業の学内参入、ICTの進化・拡充と浸透（ネットショッピング、情報過剰社会等）、組合員ニーズの多様化とさらなる個性化、そしてコロナ禍の影響と考えられます。

以下の4点を基準に事業活動を整理（再構築）し、組合員ならびに大学が求める付加価値の探求あるいは創造します。

《付加価値の優位性がある事業活動》

まだまだ優位性があると考えられる事業活動です。この優位性を、今後も継続して確保できるように取り組みます。

《ボーダーライン上の事業活動》

かろうじて優位性が保てていると考えられる事業活動ですが、立ち止まることで徐々に優位性を損なう可能性が高いです。常にブラッシュアップを必要とします。組合員の利用・活動動向を分析し、よりキャンパスライフに寄り添った事業に育つよう取り組みます。

《優位性が崩れつつある事業》

外的要因（コロナも含む）により、既に優位性がなく、組合員も生協に優位性を見出せていない、あるいは一部の組合員のみ利用に留まっている事業活動です。

今後、事業活動の継続を重々検討し、進化の可能性があるようであれば注力し、可能性が低い場合は終了することを判断します。

《新たな付加価値の創造》

これまで取り扱ったことのない事業活動の検証、あるいは過去に終了した事業活動の再検証を行います。いまの組合員ニーズに適合することができないか、再チャレンジすることができないかを考え、新たな付加価値の創造に努めます。



【改装関係】

2024年度に附属学校店の移転、2025年度に発達科学部食堂のリノベーションを予定しています。また、医学部店の取り扱い商品を一部変更します。

① 附属学校店への移転

8月から9月の期間にて、現在のC棟1階リフレッシュコーナーから、D棟1階の書道教室への移転が計画されています。フロア面積も約3倍に広がる予定です。ただ、一部を生徒のリフレッシュコーナーとして活用し、自動販売機の設置(移設)も検討されています。そのため、店舗との区分をどのように工夫し、現時点よりも広くなるスペースをどのように有効活用するのが課題です。特に昼食時間帯の混雑緩和対策は重々検討が必要です。また、手作り弁当が非常に好評で、温蔵ショーケースが設置できないかと検討しています。附属学校の組合員の利便性が向上するように、附属学校ならびに大学施設部と連携を取りながら進めます。

② 発達科学部食堂のリノベーション計画

当初の2024年度実施予定から2025年度実施に変更されました。この1年間にて、事前準備を進めます。第1弾としては、2023年2月に提供カウンターのレイアウト変更を行い、温蔵ショーケースや冷蔵ショーケースを設置しました。それ以外にも食器やトレイの変更等を計画しています。今後も大学と連携を深め、より良い食堂になるように尽力します。

③ 医学部店の食品取り扱いの再開

新施設への移転後(2023年6月)、取り扱い商品を情報機器や文具・サプライ・医療用具等に特化した品揃えに変更しました。これはフロア面積が縮小(約50%)したことと、同施設内に競業店(飲食関係)が出店したことが要因です。ただ、医学部の組合員(特に学生組合員)からは、食品関係の取り扱いを再開する要望が非常に強いです。この要望に応えるため、医学部の組合員と意見交換を行い、小さなスペースからとなりますが、食品の取り扱いを再開します。今後も組合員と意見交換を積極的に行い、鮮度のある品揃えを目指します。

各事業部活動方針

【ショップ事業部活動方針】

1. 価格上昇が継続する中、価格以上の「価値」「魅力」「楽しさ」を感じて頂ける、店舗づくりを目指します。
 - ① 独自性の追求
 - ・ 連合企画だけでなく、神大の学事や状況に合わせた取り組みを実施します。
 - ・ ベースは連合企画とするが年に数回、独自企画としてインパクトの高い企画を実施します。

価格訴求型企画

 - ☞ 事業連合在庫のロット割れやベンダー出荷期限間近の商材などの情報をこまめに収集し、粗利率を落とさずインパクトのある企画価格を実現させます。

学事催事型企画

 - ☞ 価格より「テーマ」「タイミング」「学内貢献度」に重点を置き展開します。
 - ② 組合員ニーズ把握のためのアンケートを実施します。
 - ・ 取扱商品とサービス内容が多種多様で、フードサービス事業部に比べ取組めていない。①の取り組みを有意義な内容にするためにも、しっかりと組合員のニーズを調べ品揃え、企画内容に反映させていきます。
 - ③ 組合員とのコミュニケーション促進
 - ・ 組合員が、何に「価値」「魅力」「楽しさ」を感じ、どんな将来像を描いているのかを知り既存事業の修正と新たな事業の組み立てを考えていきます。
 - ④ 品質とサービス向上(店舗基礎力の底上げ)
 - ・ コンビニ4原則(QSCA)を中心とした連合研修を活用し、店舗スタッフ教育を充実させ店舗力アップを目指します。

※コンビニ4原則(QSCA)とは、「クォリティー」「フレンドリーサービス」「クリンリネス」「アソートメント」の4つを指します。
2. 組合員の学内活動活性化(滞在時間延長)に貢献できる取り組みを行うことで店舗利用促進を計り、来店客数の増加を目指す。
 - ① 組合員同士の交流や競争を促進する為、定期的なイベントやコンテストの実施
 - ② ソフトウエア学習会や説明会開催等、新たなイベントの企画
 - ③ 組合員とのコミュニケーションとフィードバックの活性化
3. 多様化する組合員の好みやニーズ、要望に対応するべく、【焼き立てパン】【ホットスナック】販売実施に向け準備を開始します。
 - ① 多様な商品ラインナップの提供(学食定期で購入できる商品も増加)
 - ② 食事の利便性向上
 - ③ 新たな顧客層の獲得
 - ④ 店舗魅力の増進

【フードサービス事業部活動方針】

1. 神戸大学における食の事業を構築、組合員への貢献・満足度を高めます。
 - ① 客数を指標とし、1,113,004人の利用を目指します。
 - ・ 昼食時間帯の混雑対策を徹底し、昼食時間帯の利用環境の向上を目指します。
 - ・ 夕食時間帯、土曜日、留学生、教職員向けの食環境を整えます。
 - ② QSC、衛生管理の改善を進め店舗のレベルを上げ、組合員満足度を高めます。
 - ・ 施設衛生点検項目で全店95点以上を達成された店舗作りを進めます。

※QSCとは「クォリティー」「サービス」「クリンリネス」の3つを指します。

- ③ キャンパス環境の変化の中、新しい業態、メニュー展開に挑戦します。
 - ・ 神大生協全体の食に関わる事業へ貢献します。
 - ・ 手作り弁当を中心に、テイクアウト商品を強化します。
 - ・ テイクアウト容器のリサイクルを進めます。
 - ・ 閑散期に関しては、利用とコストのバランスを取り、食環境を整えます。
 - ・ コンパ、ケータリング事業をブラッシュアップします。
 - ・ 留学生対応としてハラル・ベジタリアン対応をさらに進めます。
 - ④ 神大生協の組合員に対して知る活動を進めます。
 - ・ 利用者アンケートの実施を行い、ニーズを汲み取り店舗改善を進めます。
 - ・ 組合員と一番近い距離で働くスタッフの声を積極的に聞き、店舗改善に活かします。
 - ⑤ 広報活動により、組合員に知らせる活動を強化します。
 - ・ 外から食堂の場所や利用方法が一目で分かるようにし、迷わず利用出来るようにします。
 - ・ SNSなど店舗内ではなく店舗外での宣伝活動を行います。
 - ⑥ 食生活支援事業としての役割発揮、地産地消、各種団体とのコラボ企画などにより、食堂での楽しさを演出します。
 - ・ 組合員の参画を促進し、大学生協での役割を發揮します。
 - ※大学生協は、組合員が運営に参加頂くことを大切にしています。
 - ・ 「学食定期」を活用いただく事で、組合員の食と健康を支えます。
 - ・ 神大生協独自企画により、利用する楽しさを演出します。
 - ⑦ 新店・リニューアル店舗の組合員満足度を高めます。
 - ・ 発達科学部食堂のリノベーションに向け(2025年度)、大学と協力しながら進めます。
 - ・ 2024年6月に新施設に移転しました、医学部食堂の組合員満足度を高めます。
2. フードサービス事業部全体で事業剰余予算を達成し、神大生協全体の運営に貢献します。
- ① 組合員に支持される店舗づくりをすすめ、供給高 574,596 千円を達成します。
 - ・ 各店舗予算客数に拘り、目標客数達成に向けて時間帯別に追及・対策の執行を徹底します。
 - ・ 昼食時間帯においては各コーナーの出食スピードに拘ります。
 - ② 事業規模に対応し、利用に合わせたコントロールを最重要課題とします。
 - ・ 各店舗客数M/Hを指標とし、利用に合わせた稼働計画・投下労働時間の執行・修正を行います。
 - ※M/H(マンアワー食数)とは、客数を労働時間で割った数値で各店舗一定水準を維持する事で効率的な運営が出来ます。
 - ・ 閑散期営業については利用に合わせ効率化を進めます。

【総務部】

1. 学生総合共済の加入率 85%を目指します。また、35歳以上以上の組合員へ COOP 共済保険商品を提案し、無保険とならないように尽力します。
2. 共済の予防提案の一環として、「六甲健康ランド」の充実を図ります。
3. 勤怠システムの導入を進めます。
4. 支部便(総務部と各店舗との書類等の受渡)に関して、外部委託も視野に合理化を図ります。
5. 総務部から積極的な情報発信を行い、各店舗の運営がスムーズになるように支援します。

学生委員会活動方針

○24年度の活動指針

昨年度(2023年度)開始時に、学生委員会(以下 GI)の活動の軸となる活動指針(以下 MVV と呼ぶ)を策定し、2023年度はこれをもとに企画の発案やその他活動を行ってまいりました。

今年度(2024年度)におきましても、以下に示します MVV を軸に活動してまいります。

【ミッション(神大 GI の活動理念)】

組合員に学生目線での価値還元を行う

大学生協は、組合員から預かった出資金を運用することで活動しているため、組合員へ利益を還元しなければいけない。これは大学生協の一組織(組織内委員会)である GI にも当てはまることである。GI は、学生組合員にて構成されており、還元を受ける側である。よって GI は、学生委員が様々な価値観や意見を学生の立場から共有し、組合員のより多様なニーズに対応した活動を行うことが可能である。これを GI の強みであると認識するとともに、自分も組合員の一員と捉え、組合員=自分自身がそれぞれの「魅力ある大学生活」という価値の還元を実感できる状態を目指す。

【ビジョン(どんな企画を行うか)】

生協と組合員の橋渡しとなる

大学生協は、組合員が必要とするサポートやサービスを提供している。しかし現時点では、大学生協は組合員にとって身近な存在として確立されていない。そこで、学生主体の組織である GI は、学生目線で組合員のニーズに意識を向け、自身の活動へと反映させるべきである。その活動を通して、大学生協の存在を身近に感じてもらうことを目指す。

【バリュー(ミッションを達成するための行動指針)】

① 組合員のニーズを的確に捉え、企画に反映させる。

ここでの「ニーズ」とは、組合員自身が持つ要望や悩み、不安といった顕在的なものに加えて、学生委員の視点から、大学生の知見として必要ではあるが現状不足しているといった社会からのニーズもまた、潜在的なニーズとして考える。

② お互いの頑張りを認め合う。

GI におけるあらゆる活動は、常に誰かの頑張りによって支えられているので、それに対する感謝やリスペクトの心を忘れてはならない。また、自分自身の頑張りを仲間に伝え褒め合うことも、お互いを尊敬できる雰囲気づくりにおいて重要である。

③ 楽しみながら最後までやり遂げる。

GI では、向上心を持ってやりたいことにチャレンジする機会を多く得ることができる。そして、その経験から得た学びを共有し、今後活かすことは個人に限らず GI 全体の大きな成長につながる。また、活動を楽しみつつも、自身のキャパシティを把握し責任感を持って取り組むことが必要である。

④ 言い争うのではなく、意見を交換する。

GI の活動では話し合う場面が多くある。そこで自分の意見をはっきり伝えることは大切だが、頭ごなしに自分の価値観を押し付けてはいけない。お互いの考え方の違いを理解し、相手の意見を尊重しあうことで、より実のある話し合いが可能になる。

⑤ 持ちつ持たれつの関係を築く。

GI活動をする中で、悩みや苦勞を感じることもある。1人で抱え込まずそれらをみんなで共有し、持ちつ持たれつの関係を学生委員同士が築くことで、GI全体の一体感が生まれる。

○GIから学生組合員の皆様へ

私たち学生委員会(以下GI)は、学生組合員が主体となり活動に取り組んでいる生協の組織内委員会です。大きな活動理念やどのような企画を行うか、また私たちが考える企画の実現に必要な行動指針は上記の通りです。その中にある「組合員に学生目線での価値還元を行う」というミッションと「生協と組合員の橋渡しとなる」というビジョンには、組合員(神戸大学の学生や教職員)のために行われている生協の事業・活動が、生協だけで独り歩きせず、組合員に寄り添った事業・活動になるように、私たちGIが様々な場面で連携するという意味も含まれております。

また、組合員の大部分を占める学生の日線で、価値還元できるという点が私たちの日々の活動の原動力であり、その実現を常に目指しております。その実現のために、選挙や環境問題啓発企画等の社会的課題の啓発活動や、SNS等での有意義な情報発信、機関紙「Rambler Times」等の冊子の発行をしております。そして、新入生がスムーズな大学生活のスタートを切れるような情報を盛り込んだ冊子「うりぼう」の発行や、新入生歓迎企画も行っております。近年では、神戸大学と連携して受験生(未来の神戸大学生協の組合員)へのサポートも行っております。

※詳細に関しては第一号議案の2023年度学生委員会活動報告を参照ください。

企画とは別に、GIから組合員への活動はもちろんのこと、GI部員の活動へのモチベーションアップや企画の幅を広げるため、他大学GIと交流会を実施し交流を広げるなどの活動も行ってきました。以上のようにGIは多様な活動を行っていますが、まだまだ不十分な点があります。特に、私たちが時間をかけて行っている活動の情報や名称が、十分に組合員へ行き届いていない現状は大変残念に感じております。近年では、毎年課題として上がるテーマでもあるため、今後必ず改善しなければならない問題と考えております。2024年度はそういった課題の解決・改善に継続的に取り組みつつ、柔軟な発想でより多くの組合員のニーズに応えることで、学生目線での価値還元をしっかりと実現できるようにGIメンバー一丸となって取り組みます。

最後に、長くなりましたが、GIの活動には組合員の皆様の協力が不可欠です。ぜひ、皆様の最高の大学生活を実現できるようともに頑張っていきましょう！

神戸大学生協学生委員会
2023年度委員長 西田 駿
2024年度委員長候補 飯田 陽向

第2号議案－2 2024年度予算

1. 2024年度予算(案)

〈単位：千円〉

	合 計	ショップ	フードサービス	総務部
		事業部	事業部	
総供給高	2,072,412	1,497,813	574,599	
供給値引	17,410	3,910	0	13,500
純供給高	2,055,002	1,493,903	574,599	▲13,500
供給剰余金	513,364	202,969	323,895	▲13,500
G P R	24.98%	13.59%	56.37%	100.00%
共済受託手数料収入	24,350	0	0	24,350
教育文化事業収入	500	0	0	500
供給事業手数料収入	284	40	0	244
その他手数料収入	137,819	104,069	0	33,750
その他事業収入計	162,953	104,109	0	58,844
事業総剰余金	676,317	307,078	323,895	45,344
役員報酬	9,528	0	0	9,528
職員給与	86,712	55,121	27,711	3,880
定時職員給与	289,244	83,784	174,260	31,200
退職給付費用	3,392	0	0	3,392
法定福利費	39,259	17,369	13,694	8,196
厚生費	2,462	634	1,239	589
役員退職給与引当金繰入	780	0	0	780
賞与引当金繰入	5,500	0	0	5,500
派遣人件費	3,760	3,760	0	0
人件費合計	440,637	160,668	216,904	63,065
教育文化費	1,547	0	0	1,547
広報費	8,201	4,731	268	3,202
消耗品費	28,247	7,109	17,245	3,893
物流費	1,800	0	0	1,800
車両運搬費	10,125	8,393	851	881
施設維持管理費	17,840	3,131	12,813	1,896
減価償却費	7,517	1,992	5,261	264
賃借料	3,404	1,584	33	1,787
水道光熱費	41,795	6,446	34,091	1,258
保険料	1,653	0	0	1,653
委託料	59,501	7,874	4,308	47,319
研修採用費	5,299	379	3,000	1,920
調査研究費	603	25	0	578
会議費	633	95	218	320
諸会費	6,650	307	0	6,343
渉外費	210	0	0	210
租税公課	494	2	0	492
通信交通費	9,558	3,277	834	5,447
雑費	17,520	900	0	16,620
事業連合委託費	56,940	0	0	56,940
物件費合計	279,689	46,245	78,922	154,522
事業経費合計	720,326	206,913	295,826	217,587
事業剰余金	▲44,009	100,165	28,069	▲172,243
事業外収益	17,499	1,582	5,000	10,917
事業外費用	590	0	0	590
経常剰余金	▲27,100	101,747	33,069	▲161,916
税引前当期剰余金	▲27,100	101,747	33,069	▲161,916

2. 2024年度予算(案)と2023年度実績の対比

<単位：千円>

2024年度 予 算	総合計				2023年度 実 績	対比 (%)
		ショップ 事業部計	フードサービス 事業部計	総務部計		
純供給高	2,055,002	1,493,903	574,599	▲13,500	2,028,559	1.3
供給剰余金	513,364	202,969	323,895	▲13,500	498,884	2.9
G P R	25.0%	13.6%	56.4%	0.0%	24.6%	1.6
その他収入計	162,953	104,109	0	58,844	156,293	4.3
事業総剰余金	676,317	307,078	323,895	45,344	655,177	3.2
人件費計	440,637	160,668	216,904	63,065	412,343	6.9
物件費計	279,689	46,245	78,922	154,522	282,955	▲1.2
事業経費合計	720,326	206,913	295,826	217,587	695,298	3.6
事業剰余金	▲44,009	100,165	28,069	▲172,243	▲40,121	▲9.7
事業外収益	17,499	1,582	5,000	10,917	46,674	▲62.5
事業外費用	590			590	3,483	▲83.1
経常剰余金	▲27,100	101,747	33,069	▲161,916	3,070	▲982.7
税引前当期剰余金	▲27,100	101,747	33,069	▲161,916	3,070	▲982.7

3. 予算の特徴

(1) 供給高

2023年度の供給高+1.3%増とし、20億円超を目指します。また、その他収入は新入生支援活動やコープ共済商品、その他受付業務に尽力し+4.3%増を目指します。

なお、総務部の供給値引は、大学生協アプリでの決済利用にて発生するポイント(1割=1円)です。

(2) 経 費

①人件費は、正規役職員18名(出向職員1名を含む)、定時職員3名、パートタイマー約230名の人員体制で予算編成しています。

※2023年度比較で正規職員は+2名、定時職員は△2名です。

正規職員の賞与は年間3.2ヶ月、定時職員の賞与は支給計算式通りとしています。

また、パートタイマーに関しては、時間給の最低賃金改定ならびに、社会保険適用拡大を加味し2023年実績の3.0%増の編成です。

②物件費は、2023年度実績を精査し、費用の削減に努めました(△1.2%)。また、附属学校ショップが、8月頃に移設する予定で、これに要する費用を計上しています。

なお、水道光熱費に関しては、2023年度実績にて計上しました。ります。

(3) 事業外収益

事業外収益では、経費の戻入、トレイ広告収入、経年度出資金整理益を計上しています。

(4) 剰 余

結果、税引前当期剰余金で△2,710万円の予算となります。

コロナ禍にて、人員体制の再構築(最適化)、閉店を含む店舗の再編、合理性を求めた営業時間等、経営再建へ向けて経費の削減は大きく進んだと考えています。経営再建を更に進めるにあたり、利用(活用)の増加を目指さなければならぬことは、この2024年度予算編成にて、明確となりました。年間供給高が20億円では安定した運営を維持することは難しく、23億円(+3億円)が目指すべき指数となります。また、校費利用に依存しない事業構造へ速やかに移行することが重要なことも、2023年度の実績にて検証されました。

2024年度予算編成では、各店舗と明確なビジョンを共有しきれなかったため、損失予算(赤字予算)を編成するに至りました。ただ、改善や対策が必要なこと、そして様々なチャレンジに関しては速やかに行動に移し、少しでも損失を圧縮するように努めます。

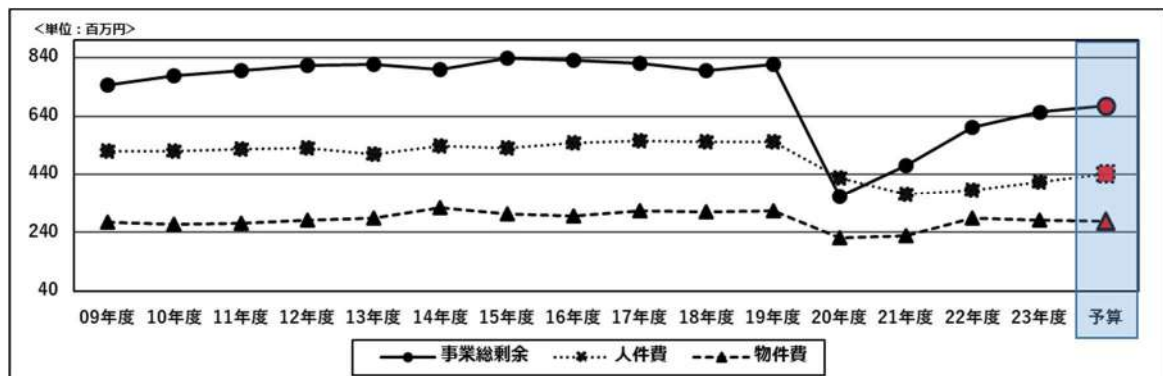
4. 推移

2009年度実績から2024年度予算を、事業総剰余(供給剰余+その他収入)・人件費・物件費・当期剰余金・累積剰余金の推移を表した表とグラフは以下の通りです。

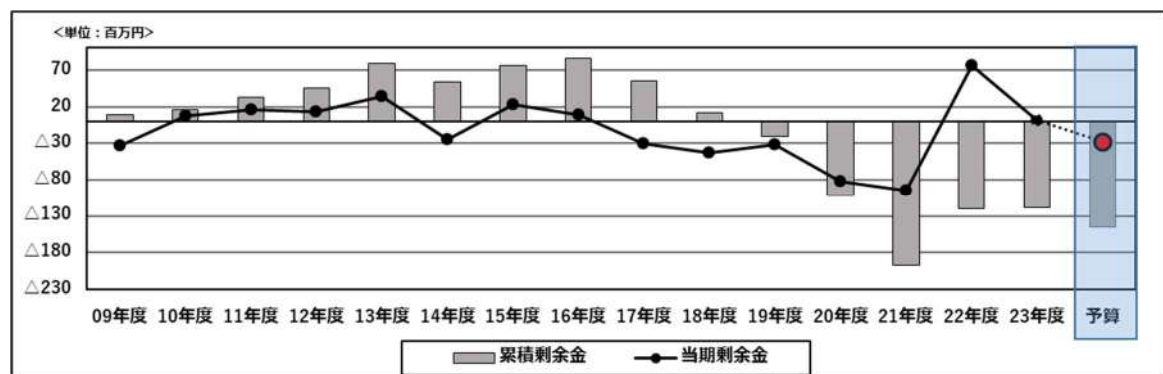
① 2009年度—2024年度予算推移表

		<単位：千円>														
	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度予算
事業総剰余	744,706	777,517	794,399	813,504	815,843	798,695	838,231	831,804	819,642	796,573	817,148	363,160	471,193	602,568	655,177	676,317
人件費	520,110	518,748	526,770	530,405	507,541	537,468	531,042	549,505	554,917	549,870	552,495	427,531	372,021	385,356	412,343	440,637
物件費	274,264	268,180	272,143	281,119	289,592	323,776	303,321	296,283	314,045	311,946	315,344	220,481	228,390	289,241	282,955	279,689
当期剰余金	△33,409	7,133	15,894	13,546	33,559	△25,367	22,363	9,153	△30,951	△43,259	△31,282	△82,435	△94,636	76,806	1,745	△27,100
累積剰余金	9,320	16,453	32,347	45,893	79,452	54,085	76,448	85,601	54,650	11,391	△19,891	△102,326	△196,962	△120,156	△118,411	△145,511

② 事業総剰余・人件費・物件費 2009年度—2024年度予算推移グラフ



③ 当期剰余金・累積剰余金 2009年度—2024年度予算推移グラフ



なお、本議案の官庁等への届け出等については、本通常総代会の議決の趣旨に反しない範囲内で字句の修正等をさせていただくことを理事会に一任願います。

第 3 号議案 2024 年度役員選出の件

生協の運営を担う役員（理事・監事）は、総代会にて総代の皆様から選出されます。役員選挙管理委員会のもと、役員立候補及び理事会での推薦を受けた役員候補者は、以下の 28 名となります。

1. 選出をお願いする役員（理事・監事）は以下の通りです。

【理事候補 25 名】

選出区	氏名	所属・学年
院生・学生区	宮田 祥羽	工学部 4 年生(前理事)
	西田 駿	工学部 3 年生(前理事)
	畑中 美南	国際人間科学部 3 年生(前理事)
	越智 亜未	法学部 3 年生(前理事)
	川崎 海音	農学部 3 年生(前理事)
	守谷 彩花	工学部 3 年生(前理事)
	古橋 みのり	農学部 3 年生(前理事)
	飯田 陽向	工学部 2 年生(新人)
	木下 幸喜	国際人間科学部 2 年生(新人)
	森本 紗代	国際人間科学部 2 年生(新人)
	辻野 康生	経営学部 2 年生(新人)
	齋藤 晴香	農学部 2 年生(新人)
	小川 晏奈	医学部保健学科 2 年生(新人)
	黒岩 周平	経済学部 2 年生(新人)
	教職員区	西野 友年
向井 洋一		工学研究科教員(前理事)
朴 鐘祐		人文学研究科教員(前理事)
横川 博一		大学教育推進機構教員(前理事)
石丸 幸勢		附属中等教育学校教員(前理事)
小澤 卓也		国際文化学研究科教員(前理事)
元井 直樹		海事科学研究科教員(前理事)
橋本 直人		人間発達環境学研究科教員(新人)
その他	坂本 安弘	生協職員(前理事)
	木村 祐一	生協職員(前理事)
	岡川 功	生協職員(前理事)

【監事候補 3 名】

選出区	氏名	所属・学年
全体区	大谷 恭弘	工学研究科研究員(前監事)
	中出 麻紀	大学職員(新人)
員外区	小紫 裕正	学外者(前監事)

2. 役員の任期

1年間

※本総代会で任期を満了する役員は以下の通りです。

【理事】

西野 友年(教員)	朴 鐘祐(教員)	向井 洋一(教員)	横川 博一(教員)
元井 直樹(教員)	小澤 卓也(教員)	長坂 耕作(教員)	石丸 幸勢(教員)
中川 歩美(院生)	村尾 宙俊(学生)	西岡 大輝(学生)	佐久間 蒼立(学生)
冨田 実由(学生)	山本 真聖(学生)	宮田 祥羽(学生)	水野 奈津(学生)
西田 駿(学生)	畑中 美南(学生)	越智 亜未(学生)	川崎 海音(学生)
守谷 彩花(学生)	古橋 みのり(学生)	木村 祐一(生協職員)	岡川 功(生協職員)
坂本 安弘(生協職員)			以上 25 名

【監事】

大谷 恭弘(大学教員)	上根 大輔(大学職員)	小紫 裕正(学外者)	以上 3 名
-------------	-------------	------------	--------

なお、本議案の官庁等への届け出等については、本通常総代会の議決の趣旨に反しない範囲内で字句の修正等をさせていただくことを理事会に一任願います。

第 4 号議案 定款の一部変更の件

1. 提案内容

定款第 8 4 条（公告の方法）を以下の通り変更いたします。

改定(案)	現行条文	備考
<p>(公告の方法)</p> <p>第 8 4 条 この組合の公告は、この組合の事務所の店頭に掲示する方法により行う。</p> <p><u>2</u> 前項のほか、電子公告の方法により行う。</p> <p><u>3</u> 法令により官報に掲載する方法により公告しなければならないものとされている事項に係る公告については、官報に掲載するほか、第 1 項に規定する方法により行うものとする。</p>	<p>(公告の方法)</p> <p>第 8 4 条 この組合の公告は、この組合の事務所の店頭に掲示する方法により行う。</p> <p><u>2</u> 法令により官報に掲載する方法により公告しなければならないものとされている事項に係る公告については、官報に掲載するほか、第 1 項に規定する方法により行うものとする。</p>	<p>公告方法の追加</p> <p>項の追加による繰り下げ</p>

2. 改定の理由

厚生労働省模範定款例第 78 条に準じて、公告方法を追加します。

3. 改定日

改定日は兵庫県 の定款改定に際しての認可日とします。

なお、本議案の官庁等への届け出等については、本通常総代会の議決の趣旨に反しない範囲内で字句の修正等をさせていただくことを理事会に一任願います。

第5号議案 総会および総代会運営規約の一部変更の件

1. 提案内容

総会および総代会運営規約第23条を以下の通り一部改定いたします。

改定(案)	現行条文	備考
<p>(規定の準用)</p> <p>第23条 <u>総会の運営にあたっては、この規約の各条を準用する。この場合において、第2条中「総代2人まで」とあるのは「組合員9人まで」と、第13条中「総代10人以上」とあるのは「組合員30人以上」と、第14条中「総代5名以上」とあるのは「組合員20名以上」、「総代10人以上」は「組合員30名以上」と読み替えるものとする。</u></p> <p>(施行期日)</p> <p>この規約は、組合の成立の日から実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1992年7月 6日一部改正 ・1993年6月 6日一部改正 ・2001年6月26日一部改正 ・2013年5月27日一部改正・施行する。 ・2024年5月23日一部改正 	<p>(規定の準用)</p> <p>第23条 本規約は、総会の運営について準用する。</p> <p>(施行期日)</p> <p>この規約は、組合の成立の日から実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1992年7月 6日一部改正 ・1993年6月 6日一部改正 ・2001年6月26日一部改正 ・2013年5月27日一部改正・施行する。 	<p>総会開催時の準用の詳細を加筆</p> <p>改定日の追加</p>

2. 改定の理由

総会開催時の準用を詳細にします。

なお、本議案の官庁等への届け出等については、本通常総代会の議決の趣旨に反しない範囲内で字句の修正等をさせていただくことを理事会に一任願います。

第 6 号議案 監事監査規則の一部改定の件

1. 提案内容

監事監査規則を以下の通り一部改定いたします。

※監事監査規則の改定は、すべての監事にて協議・合意のもと、第 12 回理事会(5 月 1 日開催)を経てに本総代会に提案しています。

改定(案)	現行条文	備考
<p>(監事監査の実効性を確保する体制)</p> <p>第 8 条 省略</p> <p>2 前項の体制を確保するため、監事が必要と考えたときは、理事又は理事会に対して、次に掲げる事項に関する必要な協力を要請するものとする。</p> <p><u>(1) 削除</u></p> <p><u>(2) 削除</u></p> <p><u>(1) 理事及び職員が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制</u></p> <p><u>(2) その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制</u></p> <p>(過半数同意事項)</p> <p>第11 条 次に掲げる事項の決定は、監事の過半数の同意によって行う。ただし、各監事の権限の行使を妨げない。</p> <p>(1)～(4) 省略</p> <p><u>(5) 削除</u></p> <p><u>(5) 監査についての規則等の設定、変更又は廃止</u></p> <p><u>(6) 監査に関する基準の設定、変更又は廃止</u></p> <p><u>(7) 特定監事及び監事会議長の互選</u></p> <p>(議長)</p> <p>第16 条 省略</p> <p>2 議長は、監事会の委嘱を受けた次の事務を遂行する。ただし、議長は、各監事の権限の行使を妨げることはできない。</p> <p>(1) 監事会の議題設定、意見調整</p> <p><u>(2) 削除</u></p> <p><u>(2) その他、この規則に定める役割</u></p> <p>附則 (施行期日)</p>	<p>(監事監査の実効性を確保する体制)</p> <p>第 8 条 省略</p> <p>2 前項の体制を確保するため、監事が必要と考えたときは、理事又は理事会に対して、次に掲げる事項に関する必要な協力を要請するものとする。</p> <p><u>(1) 監事の職務及び監事会の事務を補助すべき職員（以下「監事スタッフ」という。）に関する事項</u></p> <p><u>(2) 監事スタッフの理事からの独立性に関する事項</u></p> <p><u>(3) 理事及び職員が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制</u></p> <p><u>(4) その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制</u></p> <p>(過半数同意事項)</p> <p>第11 条 次に掲げる事項の決定は、監事の過半数の同意によって行う。ただし、各監事の権限の行使を妨げない。</p> <p>(1)～(4) 省略</p> <p><u>(5)監事スタッフの人事に関する事項の同意</u></p> <p><u>(6) 監査についての規則等の設定、変更又は廃止</u></p> <p><u>(7) 監査に関する基準の設定、変更又は廃止</u></p> <p><u>(8) 特定監事及び監事会議長の互選</u></p> <p>(議長)</p> <p>第16 条 省略</p> <p>2 議長は、監事会の委嘱を受けた次の事務を遂行する。ただし、議長は、各監事の権限の行使を妨げることはできない。</p> <p>(1) 監事会の議題設定、意見調整</p> <p><u>(2) 監事スタッフの指揮</u></p> <p><u>(3) その他、この規則に定める役割</u></p> <p>附則 (施行期日)</p>	<p>項(1)(2)を削除</p> <p>削除に伴い、(3)を(1)に、(4)を(2)に繰り上げ</p> <p>(5)の削除ならびに以降の項番号を繰り上げ</p> <p>第 8 条 2 項の変更に伴い 2 項(2)を削除</p> <p>削除に伴い(3)を(2)に繰り上げ</p>

<p>1 この規則は、この組合の成立の1992年7月6日から実施する。</p> <p>2 この規則は、2001年6月26日に一部改定し実施する。</p> <p>3 この規定は、2008年7月4日に一部改定し実施する。</p> <p>4 この規定は、2017年5月25日に一部改定し実施する。</p> <p>5 この規程は、2022年5月26日に一部改定し実施する。</p> <p>6 この規程は、<u>2023年5月23日に一部改定し実施する。</u></p>	<p>1 この規則は、この組合の成立の1992年7月6日から実施する。</p> <p>2 この規則は、2001年6月26日に一部改定し実施する。</p> <p>3 この規定は、2008年7月4日に一部改定し実施する。</p> <p>4 この規定は、2017年5月25日に一部改定し実施する。</p> <p>5 この規程は、2022年5月26日に一部改定し実施する。</p>	<p>実施日の追加</p>
--	--	---------------

2. 改定の理由

監査の実務に準じて規則を改定します。

なお、本議案の官庁等への届け出等については、本通常総代会の議決の趣旨に反しない範囲内で字句の修正等をさせていただくことを理事会に一任願います。

第7号議案 役員報酬決定の件

役員の年間報酬(2024年6月～2025年5月)について、下記の総額の範囲で理事会が定める役員報酬規則および役員退職金規則にもとづいて支給すること、および各役員の報酬額・支給方法などについては理事会の協議に委ねることを提案します。

1. 役員報酬

2024年度役員報酬のうち、退職慰労金を除くものについて次の総額を定めます。

理事の報酬 1名 総額 1,000万円

- ・理事のうち、常勤役員は1名の予定です。
- ・この議案は、報酬総額(上限額)を定めるものであり、実際の支給額は理事会の議決にて定めます。
- ・この金額は、前年度の総代会で議決した金額と同じです。
- ・監事への報酬はありません。

2. 役員退職慰労金の金額

今総代会で就任予定の役員が、何らかの事由で次期総代会までに退任した場合に、退職慰労金として支払う可能性のある分も含めた総額を提案しています。

役員報酬規則にもとづき役員就任期間に対応する役員退職慰労金を支給することとし、具体的な支給金額・支給時期等については理事会に委ねます。

理事への退職慰労金 総額 670万円

- ・現専務理事 坂本 安弘(2015年5月から専務理事)が次期通常総代会までに退任した場合に支払う可能性のある退職慰労金について、上記の総額の範囲で役員報酬規則及び役員退職慰労金規則に基づき、具体的な支給金額・支給時期等を理事会に委ねます。
なお、退職しない場合は支払われません。
- ・役員退職慰労金は、これまで総代会にて提案しておらず、今総代会より提案事項に加えます。

なお、本議案の官庁等への届け出等については、本通常総代会の議決の趣旨に反しない範囲内で字句の修正等をさせていただくことを理事会に一任願います。